



久喜市

【素案】

令和7年度 教育委員会の事務に関する点検・評価 (令和6年度対象)

久喜市教育委員会

令和7年 月

目 次

I はじめに

1 点検・評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象及び方法	1
3 点検・評価結果の構成	2

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成	3
2 教育委員会会議の開催状況	3
3 総合教育会議の開催状況	8
4 教育委員会委員の教育施設訪問状況	8

III 点検・評価の結果

基本目標1 互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する

施策1 人権を尊重する意識を高めます	10
施策2 学校・家庭・地域等における人権教育を推進します	12

基本目標2 心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える

施策1 質の高い幼児教育を行います	17
施策2 子どもたちに未来を切り拓く力を育みます	22
施策3 豊かな感性と他者を尊重する心を養います	29
施策4 絆を深め、地域社会と連携した教育を推進します	38
施策5 児童生徒の安全確保と、安全教育を推進します	43
施策6 学校の適正規模・適正配置と学校施設等の整備を推進します	46
施策7 児童生徒の健康づくりを推進します	50

基本目標3 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする

施策1 生涯にわたり学び続けるための環境をつくります	55
施策2 年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します	64
施策3 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育みます	66

I はじめに

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、久喜市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

2 点検・評価の対象及び方法

(1) 点検・評価の対象

令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までを計画期間とする「第3期久喜市教育振興基本計画」では、各基本目標及び施策において、取組みの『見える化』として数値での目標を設定しています。

また、久喜市教育委員会では、毎年、「第3期久喜市教育振興基本計画」に定められた基本目標及び施策を達成するため、「第3期久喜市教育振興基本計画実施計画」を定めています。これは、「第3期久喜市教育振興基本計画」について、当該年度における具体的な取組み内容を示すことにより、教育行政の効果的な推進を目指すために、策定しているものです。

このことから、久喜市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行うにあたり、「第3期久喜市教育振興基本計画」で設定した取組みの『見える化』の目標値と、「第3期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みを対象とすることとしました。

(2) 点検・評価の方法

「第3期久喜市教育振興基本計画」で設定した取組みの『見える化』の目標値は、毎年度の目標値とそれに対する実績値を比較することで、点検・評価を実施しました。

「第3期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、教育委員会が自ら成果や課題を再確認することで、今後の事務の管理及び執行を改善するとともに、より効果的な教育行政の推進に資することを目的とし、自己により点検・評価することを基本に実施しました。

なお、この点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用しました。

【学識経験者氏名及び経歴】

長井 圭子（ながい けいこ）氏	共栄大学教育学部教職特命教授 元越谷市立大沢小学校長
荻原 孝之（おぎわら たかゆき）氏	平成国際大学教職支援センター特任教授 元加須市立大利根中学校長

3 点検・評価結果の構成

(1) 教育委員会の自己点検・評価について

「第3期久喜市教育振興基本計画」における各施策の中の大項目別に、『達成度』を数値で評価し、成果や課題、今後の方向性などを示す形でまとめました。

取組みの『見える化』については、毎年度の目標値とそれに対する実績値を掲載し、進捗状況や達成状況が把握できるようにしました。

なお、それぞれの「点検・評価報告書」の見方は、次のとおりです。

◆大項目及び各取組みの評価

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
①	②	③	④	⑤

①連番 通し番号を記載しています。

②取組み 実施計画に掲載している取組み名を記載しています。

③所管課 取組みを所管する担当課を記載しています。

④達成度 大項目について、取組みの結果を総合的に判断し、達成度を4段階評価により記載しています。

4・・・想定を超える成果が出た

3・・・予定どおり目標を達成できた

2・・・想定を下回る結果となった

1・・・目標を全く達成できなかった

⑤評価（成果、課題、今後の方向性等）

大項目について、取組みの内容を総括した評価（成果、課題、今後の方向性等）を記載しています。

◆取組みの「見える」化

⑥		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値					⑦			⑨
	実績値				⑧				

⑥指標名 数値目標名（指標の内容）を記載しています。

⑦目標値 各年度における目標値を記載しています。

⑧実績値 各年度における実績値を記載しています。

⑨備考 特筆すべき事項がある場合に記載しています。

(2) 学識経験者からの意見について

自己点検・評価を基に、学識経験者の方より助言をいただき、その意見を施策ごとにまとめました。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

久喜市教育委員会は、教育長と4人の教育委員をあわせた5人により構成されています。なお、教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年です。

【教育委員会構成員の一覧（令和6年度）】

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	かきぬま みつお	自 令和 6年 4月 1日	
	柿沼 光夫	至 令和 9年 3月31日	
教育長 職務代理者	もろはし みつこ	自 令和 3年 5月21日	保護者たる委員
	諸橋 美津子	至 令和 7年 5月20日	
委員	やまなか だいて	自 令和 5年 5月21日	保護者たる委員
	山中 大吾	至 令和 9年 5月20日	
委員	おのだ まゆみ	自 令和 6年 5月21日	
	小野田 真弓	至 令和10年 5月20日	
委員	しぶや かつみ	自 令和 4年 5月21日	
	渋谷 克美	至 令和 8年 5月20日	

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回の「定例会」と、必要に応じて「臨時会」を開催し、付議議案の審議及び教育長報告事項の報告など、教育行政の方針等を決定しています。なお、教育委員会会議は、会議開催日の1週間前に告示を行うとともに、市ホームページに掲載し、お知らせしています。

令和6年度は、「定例会」を12回開催し、議案53件、教育長報告54件、協議事項1件について審議等を行いました。

また、既に行われた教育委員会会議の会議録は、市ホームページに掲載しています。その他、市役所公文書館の閲覧コーナーでもご覧いただけます。

【教育委員会会議開催一覧（令和6年度）】

会議名	久喜市教育委員会令和6年4月定例会
開催日	令和6年4月22日（月）
議 案	議案第27号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第28号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第29号 久喜市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
教育長報告	ア 久喜市議会令和6年2月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 久喜市議会令和6年2月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 令和6・7年度久喜市教育委員会研究委嘱について

	エ 久喜市部落差別を解消するための同和教育の基本方針の廃止について オ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について カ 久喜市教育委員会表彰について キ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について ク 久喜市立小・中学校学校運営協議会委員の委嘱又は任命について ケ 久喜市共同オンライン分教室の中核校及び室長、副室長の指定について
--	--

会議名	久喜市教育委員会令和6年5月定例会
開催日	令和6年5月21日（火）
議 案	議案第30号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第31号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第32号 器物破損事故による損害賠償の額を定めることについて 議案第33号 久喜市指定文化財の指定について
教育長報告	ア 久喜市文化財保護審議会の答申について イ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について

会議名	久喜市教育委員会令和6年6月定例会
開催日	令和6年6月25日（火）
議 案	議案第34号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第35号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 令和6年度久喜市一般会計補正予算（第3号）（案）に係る意見聴取について イ 久喜市立小・中学校における教育データ利活用に関するガイドラインの策定について ウ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について エ 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について

会議名	久喜市教育委員会令和6年7月定例会
開催日	令和6年7月22日（月）
議 案	議案第36号 令和7年度から令和10年度使用久喜市立中学校教科用図書の採択について 議案第37号 令和7年度使用久喜市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について 議案第38号 久喜市障がい児就学支援委員会への諮問について 議案第39号 久喜市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第40号 久喜市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則について 議案第41号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第42号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について イ 久喜市議会令和6年6月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について

	ウ 久喜市議会令和6年6月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）について
--	---

会議名	久喜市教育委員会令和6年8月定例会
開催日	令和6年8月23日（金）
議案	議案第36号 令和7年度から令和10年度使用久喜市立中学校教科用図書の採択について 【継続審議】 て 議案第43号 久喜市教育委員会実費徴収に係る補足給付事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示について 議案第44号 久喜市公共施設個別施設計画（学校施設編）の改訂について 議案第45号 久喜市いじめの防止等のための基本的な方針の改訂について 議案第46号 久喜市生涯学習推進会議委員の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 令和6年度久喜市一般会計補正予算（第5号）（案）に係る意見聴取について イ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について ウ 久喜市中学校地域クラブ活動指導者の委嘱について エ 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について オ 使用許諾契約の締結について（統合型校務ネットワークライセンス）

会議名	久喜市教育委員会令和6年9月定例会
開催日	令和6年9月20日（金）
議案	議案第47号 令和7年度当初教職員人事異動方針について 議案第48号 久喜市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第49号 久喜市学校施設整備基金条例について 議案第50号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について
教育長報告	ア 器物破損事故による損害賠償の額を定めることについて

会議名	久喜市教育委員会令和6年10月定例会
開催日	令和6年10月22日（火）
議案	議案第51号 久喜市立幼稚園預かり保育に関する規則の一部を改正する規則について
教育長報告	ア 久喜市議会令和6年9月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 久喜市議会令和6年9月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について

会議名	久喜市教育委員会令和6年11月定例会
開催日	令和6年11月25日（月）
議案	議案第52号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第53号 久喜市立小・中学校学区等審議会への諮問について 議案第54号 令和6年度教育委員会の事務に関する点検・評価（令和5年度対象）について 議案第55号 久喜市立小・中学校通学区域に関する規則及び久喜市立図書館条例施行規則

	の一部を改正する規則について 議案第56号 久喜市就学指定校変更承認基準（区域外・市内指定校外就学の基準）の一部を改正する告示について
教育長報告	ア 久喜市教育委員会事務局職員の人事について イ 令和6年度久喜市一般会計補正予算（第8号）（案）に係る意見聴取について ウ 使用許諾契約の締結の報告について（統合型校務支援システムライセンス）

会議名	久喜市教育委員会令和6年12月定例会
開催日	令和6年12月23日（月）
議案	議案第57号 久喜市立学校設置条例の一部を改正する条例について 議案第58号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について
教育長報告	ア 久喜市立小・中学校学区等審議会からの答申について イ 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について ウ 久喜市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について（「久喜市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正」部分） エ 久喜市一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について（「久喜市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部改正」部分） オ 令和6年度久喜市一般会計補正予算（第9号）（案）に係る意見聴取について カ 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について キ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について

会議名	久喜市教育委員会令和7年1月定例会
開催日	令和7年1月21日（火）
議案	議案第1号 令和7年度久喜市一般会計予算（案）に係る意見聴取について 議案第2号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第3号 久喜市教育委員会表彰について
教育長報告	ア 久喜市議会令和6年11月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 久喜市議会令和6年11月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 器物破損事故における専決処分について エ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について オ 久喜市教育委員会表彰について カ 久喜市中学校地域クラブ活動指導者の委嘱について
協議事項	ア 第3期久喜市教育振興基本計画実施計画（素案）について

会議名	久喜市教育委員会令和7年2月定例会
開催日	令和7年2月21日（金）
議案	議案第4号 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について 議案第5号 久喜市任期付市費負担教職員の任用について 議案第6号 第3期久喜市教育振興基本計画実施計画（案）について

	議案第 7号 久喜市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について 議案第 8号 久喜市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則について 議案第 9号 久喜市スクール・サポート・スタッフ規則の一部を改正する規則について 議案第10号 久喜市立小・中学校職員服務規程等の一部を改正する訓令について 議案第11号 久喜市公立学校教育指導員規程を廃止する訓令について 議案第12号 久喜市立学校評議員要綱等の一部を改正する等の告示について 議案第13号 久喜市学期制検討委員会設置要綱を廃止する告示について 議案第14号 久喜市宿泊学習取消料補助金交付要綱を廃止する告示について
教育長報告	ア 令和6年度久喜市一般会計補正予算（第10号）（案）に係る意見聴取について イ 令和6年度久喜市一般会計補正予算（第11号）（案）に係る意見聴取について ウ 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について（「久喜市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正」部分） エ 久喜市幼稚園における給食費等高騰対策給付金給付事業実施要綱について オ 久喜市文化財調査委員の委嘱について カ 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について

会議名	久喜市教育委員会令和7年3月定例会
開催日	令和7年3月21日（金）
議 案	議案第15号 学校施設改修基本方針（案）について 議案第16号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第17号 久喜市教育委員会臨時的任用職員の人事について 議案第18号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について 議案第19号 久喜市教育委員会表彰について 議案第20号 久喜市共同学校事務室の室長及び副室長並びに久喜市共同学校事務室全体連絡会議の責任者及び副責任者の指名について 議案第21号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について
教育長報告	ア 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について イ 市内学校いじめ問題調査結果報告について ウ 令和6年度教職員人事評価結果について エ 久喜市障がい児就学支援委員会の答申について オ 令和6年度久喜市立中学校卒業生の進路状況について

3 総合教育会議の開催状況

久喜市総合教育会議は、地方公共団体の長である市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るために設置されているものです。

令和6年度は、下記のとおり2回開催されました。

【総合教育会議開催一覧（令和6年度）】

会議名	令和6年度第1回久喜市総合教育会議
開催日	令和6年7月9日（火）
協議・調整事項	・生涯学習の充実について ・その他

会議名	令和6年度第2回久喜市総合教育会議
開催日	令和6年10月29日（火）
協議・調整事項	・ICT環境の充実と活用について ・災害時の学校活用について ・その他

4 教育委員会委員の教育施設訪問状況

久喜市教育委員会では、教育委員が、児童生徒の日頃の様子を観察したり、校内状況を視察したりし、学校の状況を把握することで、また、図書館等の社会教育施設等を巡視し、施設の運営状況や活動状況等を把握することで、今後の教育施策に生かすことを目的に、定期的に教育施設訪問を行っています。

令和6年度は、教育委員会定例会にあわせ、計2回の教育施設訪問を実施しました。

【教育施設訪問実施一覧（令和6年度）】

訪問場所	訪問日	訪問内容
八坂神社	令和6年6月25日（火）	市指定文化財の視察
久喜市立久喜中学校	令和6年10月22日（火）	校内視察、授業参観

基本目標 1

互いを認め合い

一人ひとりの人権を尊重する

施策 1 人権を尊重する意識を高めます

1 人権啓発事業の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
1	人権啓発冊子による人権啓発の実施	生涯学習課	3	「令和6年度久喜市の社会人権教育」を発行し、人権教育の取組みについて周知を行うとともに、人権に関わる啓発記事の広報くきへの掲載や、人権標語入りの啓発品の配布を行うことで、人権意識の高揚を図ることができました。 今後も、人権問題を正しく理解し、互いの人権が尊重される社会の実現を目指すため、人権教育・人権啓発を推進していきます。
2	広報紙での人権啓発の実施	生涯学習課		
3	啓発品の活用による人権啓発の実施	生涯学習課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
広報紙の啓発記事「人権それは愛」の掲載回数 【生涯学習課】	目標値			12回	12回	12回	12回	12回	
	実績値	12回	12回	12回	12回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※令和6年度以降の実績値は広報くきへの啓発記事の掲載回数を記載。

2 人権教育指導者の養成

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
4	社会人権教育指導者養成講座の開催 ※再掲（連番 No.13）	生涯学習課	3	企業・事業者等を対象に、ハラスメントにならないためのコミュニケーションをテーマとして「久喜市社会人権教育指導者養成講座」を開催し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができました。 今後も、企業・事業者等が事業所内などにおいて人権教育に取組む一助となるよう、講座の充実を図っていきます。

■取組みの『見える化』

社会人権教育指導者養成 講座の参加者数 【生涯学習課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			304 人	304 人	304 人	304 人	304 人	★コロナの 影響あり コロナ前 273 人 (令和元年度)
	実績値	★ 中止 ※2	195 人	138 人	180 人	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

学識経験者からの意見

- 「埼玉県人権教育実施方針」では、重要な人権課題として14項目を取り上げている。様々な人権問題が存在している中、市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付け、互いの人権が尊重される社会の実現を目指すことは大変重要なことである。
- 人権啓発冊子の発行による人権啓発、市の広報紙を活用した人権意識の高揚、人権啓発品を活用した差別意識の解消、企業・事業者等を対象にした「久喜市社会人権教育指導者養成講座」等の取組みは、互いの人権が尊重される社会の実現に向けて成果を上げている。今後もこれらの取組みを継続するとともに、さらに充実させていきたい。
- 法令によって定義されているハラスメントと、いわゆる社会情勢によって生まれたハラスメントがあるが、前者は企業に防止措置が義務付けられており、万が一発生した場合のリスクが大きい。「久喜市社会人権教育指導者養成講座」で、社会的に考えていかなければならない「ハラスメントにならないためのコミュニケーション」をテーマに取り上げたことは、人権問題に対する正しい理解と認識を深めることに多大な成果を上げたものと言える。
- 今後とも不易な人権問題と社会情勢を鑑みた人権問題の解決を目指して、正しい理解による人権意識の高揚に取り組んでいきたい。

施策2 学校・家庭・地域等における人権教育を推進します

1 児童生徒への人権教育の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
5	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用、体験学習の実施 ※再掲（連番 No.80）	指導課	3	多様性、共生社会に係る視座を高める人権教育の一環として、各校の教育指導計画の中に「生命（いのち）の安全教育」を位置づけ、取り組みました。また、子どもたちが性被害・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、性に関する情報を正しく選択する思考力や判断力、適切に行動する表現力を育成することができました。
6	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲（連番 No.81）	指導課		
7	多様性、共生社会に係る視座を高める人権教育の推進 ※再掲（連番 No.82）	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
「人が困っているときは、進んで助けている」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 92.0% 中 92.0%	小 94.0% 中 94.0%	小 96.0% 中 96.0%	小 98.0% 中 98.0%	小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 89.9% 中 89.8%	小 93.8% 中 88.0%	小 93.5% 中 89.4%	小 94.0% 中 90.4%	—	—	—	
「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 98.0% 中 97.0%	小 98.5% 中 98.0%	小 99.0% 中 99.0%	小 99.5% 中 99.5%	小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 96.0% 中 95.0%	小 97.1% 中 92.8%	小 97.4% 中 95.0%	小 97.0% 中 96.3%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 教職員への人権教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
8	転入・新採用教職員学校同和教育研修会の実施 ※再掲（連番 No.83）	指導課	3	学校現場における人権教育の推進と教育公務員としての人権感覚の向上を目的に、全教職員対象の研修会を実施し、ジェンダーギャップや子どもの人権、性的指向・性自認についての認識を深めることができました。 今後も、教職員が様々な人権問題についての正しい理解のもと指導に当たることができるよう、研修を継続して実施していきます。
9	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲（連番 No.84）	指導課		
10	校長同和教育研修会の実施 ※再掲（連番 No.85）	指導課		

■取組みの『見える化』

教職員人権教育研修会等 開催回数 【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			7回	7回	7回	7回	7回	
	実績値	7回	7回	7回	4回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 PTA等への人権教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
11	PTA人権教育研修会の開催	生涯学習課	3	PTA等を対象に「外国人」「女性」「高齢者」「子ども」に関わる人権をテーマとして、「PTA人権教育研修会」を4回開催し、人権問題への理解を深めることができました。 今後も、対象者のニーズに沿ったテーマで研修会を企画、開催し、人権意識の高揚を図っていきます。

■取組みの『見える化』

PTA人権教育研修会の 開催数 【生涯学習課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			4回	4回	4回	4回	4回	
	実績値	4回	4回	4回	4回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 地域における人権教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
12	教育集会所事業の充実	生涯学習課	3	教育集会所において、各種教室・講座、交流事業を実施し、人権意識の高揚と地域住民の交流を図ることができました。 地域住民及び参加者等の意見を確認しながら、参加者数の増加につながるよう、事業の充実を図っていきます。

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
教育集会所事業参加者数 【生涯学習課】	目標値			976人	1,037人	1,098人	1,159人	1,220人	★コロナの影響あり コロナ前 1,728人 (令和元年度)
	実績値	★ 766人	1,064人	1,388人	1,045人	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 企業・事業者等に対する人権教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
13	社会人権教育指導者養成講座の開催 ※再掲（連番 No.4）	生涯学習課	3	企業・事業者等を対象に、ハラスメントにならないためのコミュニケーションをテーマとして「久喜市社会人権教育指導者養成講座」を開催し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができました。 今後も、企業・事業者等が事業所内などにおいて人権教育に取組む一助となるよう、講座の充実を図っていきます。

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
社会人権教育指導者養成 講座の参加者数（再掲） 【生涯学習課】	目標値			304人	304人	304人	304人	304人	★コロナの影響あり コロナ前 273人 (令和元年度)
	実績値	★ 中止 ※2	195人	138人	180人	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

学識経験者からの意見

- 久喜市は児童生徒に対し、体験活動や参加型体験型の活動を取り入れた「人権感覚育成プログラム」を活用した人権教育の実施、人権文集「えがお」の作成・配布による人権教育の推進等に取り組んでおり、各学校の着実な取り組みの成果が、取り組みの『見える化』（１２ページ）の２つの項目の実績値に表れている。多様化・複雑化する子どもたちの状況に対応し、一人ひとりを大事にした教育を進めている結果であると言える。
- 子どもたちが性被害・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、性に関する情報を正しく選択し、適切に行動する力を育むための指導が成果として挙げられていることが素晴らしい。
- 人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成・配布・活用や様々な研修会の実施等の取り組みは、教職員が差別の現実を学び、人権問題への認識を深めるとともに、指導者としての資質・能力の向上に大いに役立っている。
- 様々な人権課題をテーマにしたＰＴＡ人権教育研修会は、埼玉県教育委員会の人権教育の指導の重点のひとつである「家庭・地域社会と目標を共有し、連携・協働した取り組みを推進すること」につながるものである。
- 児童生徒への人権教育の取り組み、教職員の研修会、ＰＴＡ等への研修会それぞれのテーマが連動されており、児童生徒が学校で学んでいる人権問題を学校・家庭・地域が相互理解し、深めることにつながっている。子どもを中心に据え、その学びを大人が理解し支えることになる。今後も様々な人権問題を取上げ、研修する際、学校教育で取り組んでいる人権問題、子どもの思い等をそれぞれの研修会で伝えていく等、さらに連携を深めていただきたい。



基本目標2

心豊かな人材を育む学校教育を充実し
夢と希望の実現を支える

施策1 質の高い幼児教育を行います

1 信頼される幼稚園の実現

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
14	保護者間でコミュニケーションを図る機会となる園行事の実施	教育総務課 保育幼稚園課	3	小学校交流やお楽しみ会等の園行事では、保護者の積極的な保育参加を募り、保護者同士や同年齢の子どもと交流する機会を作ること、保護者が子どもへの理解を深めるきっかけを作ることができました。 さらに、就労やリフレッシュなど、様々な保護者のニーズに合わせ、預かり保育を実施することにより、保護者と園との信頼関係の構築ができました。 今後も各行事や預かり保育の継続実施にあたり、保護者のニーズに合わせた取組みを適宜検討し、「信頼される幼稚園の実現」に向け取り組んでいきます。
15	保護者の「保育参加」の機会の設定	教育総務課 保育幼稚園課		
16	預かり保育の実施	教育総務課 保育幼稚園課		
17	保護者が教員に相談できる体制づくりや、講演会の実施	教育総務課 保育幼稚園課		
18	「3つのめばえ」の共通理解と、家庭と連携して取り組む体制の構築	教育総務課 保育幼稚園課		
19	保護者との連携強化	教育総務課 保育幼稚園課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市立幼稚園における幼稚園評価保護者アンケートの幼稚園運営に関する項目について肯定的な回答が得られた割合 【教育総務課・保育幼稚園課】	目標値			91.7%	92.5%	93.3%	94.1%	95.0%	
	実績値	90.1%	91.6%	94.5%	98.8%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 幼児の非認知能力を育むための教育環境の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
20	家庭生活状況の把握	教育総務課 保育幼稚園課	3	戸外遊びでは、鬼ごっこなどのルールのある遊びを多く取り入れ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさだけでなくルールを守る大切さを指導することができました。 また、遊びの中で自分と友だちの気持ちをお互いに受け入れ、受け入れられる経験をすることにより、思いやりの気持ちを育むことができました。 さらに、当番活動でクラスを代表して、朝夕のあいさつをしたり、生活に必要なあいさつを繰り返し練習する機会を設けたりすることで、幼児があいさつの重要性や心地良さを感知、自ら率先して行うようになりました。 今後も教育環境の充実に努め、幼児の心身の成長に必要な指導を行っていきます。
21	基本的な生活習慣習得のための指導	教育総務課 保育幼稚園課		
22	戸外遊びの充実	教育総務課 保育幼稚園課		
23	思いやりの心の育み	教育総務課 保育幼稚園課		
24	友だちと一緒に食事をする機会の設定	教育総務課 保育幼稚園課		
25	食育の推進	教育総務課 保育幼稚園課		
26	あいさつや生活に必要な言葉の習得に向けての指導	教育総務課 保育幼稚園課		
27	幼児の主体的な生活の実現	教育総務課 保育幼稚園課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市立幼稚園における幼稚園評価保護者アンケートの子どもに関する項目について肯定的な回答が得られた割合 【教育総務課・保育幼稚園課】	目標値			83.4%	85.0%	86.6%	88.3%	90.0%	
	実績値	80.1%	77.0%	93.4%	94.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 教員の教育実践力の向上

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
28	園内研修の実施	教育総務課 保育幼稚園課	3	個別支援計画の作成方法について、公立幼稚園2園で合同研修を実施し、特別支援教育への教員の理解を深めることができました。 また、埼玉地区人権教育指導者研修会に園長が参加し、人権が尊重される社会について、各教員への啓発を行うことで、人権教育の意識向上に努めました。 今後も研修参加機会を確保し、教員の教育実践力の向上を図っていきます。
29	園外研修等への参加機会の設定	教育総務課 保育幼稚園課		
30	研究保育の実施及び外部指導者を招いての研修	教育総務課 保育幼稚園課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市立幼稚園の園内研修のアンケートにおいて「よく理解できた」「理解できた」との回答が得られた割合 【教育総務課・保育幼稚園課】	目標値			80.0%	85.0%	90.0%	95.0%	100.0%	
	実績値	現状値なし (令和4年度調査開始)	99.5%	100%	100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
31	幼児と小学生がふれあう交流会や授業体験、見学会の実施	教育総務課 保育幼稚園課	3	校舎や校庭見学、給食、授業体験など小学校との交流活動（実施回数：34回）を行うことにより、幼稚園、保育所等と小学校との連携が強化されました。 久喜市幼保小連絡会を年2回開催して情報交換を行いました。目指す子ども像のゴールを義務教育の修了時までとし、幼保小の職員がどのような交流活動ができるのか協議し計画しました。地区毎に取組内容に差異が生じているため、今後は市全体としての方針を明確にし、連絡会の中・長期目標を共有しながら実施を進めていきます。 幼保小の連携を円滑に行うため、小学校への訪問や連絡会等を継続して行っています。
32	連絡会（幼稚園・保育所・認定こども園と小学校）の実施	教育総務課 指導課 保育幼稚園課		
33	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の教員間における交流活動や授業参観等の実施	教育総務課 保育幼稚園課		
34	小学校との交流手段の確保	教育総務課 保育幼稚園課		
35	久喜市幼保小連絡会の開催 ※再掲（連番 No.72）	指導課		

■取組みの『見える化』

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の交流活動回数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【教育総務課・保育幼稚園課】	目標値			10回	14回	17回	21回	25回	★コロナの影響あり コロナ前22回 (令和元年度)
	実績値	★ 2回	21回	28回	34回	—	—	—	
久喜市幼保小連絡会の開催回数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【指導課】	目標値			2回	2回	2回	2回	2回	★コロナの影響あり コロナ前2回 (令和元年度)
	実績値	★ 0回 ※2	1回	2回	2回	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実績なし。

※第3期久喜市教育振興基本計画における各施策の「主な取組み」以外の取組み

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
36	私立幼稚園の施設等利用に係る給付	教育総務課 保育幼稚園課	3	幼児教育の無償化に伴い、子育てのための施設利用給付の認定を受けた幼児の通う幼稚園に対し、施設の利用費を給付することにより、通園する幼児の保護者の経済的負担が軽減され、教育機会の確保に寄与することができました。 今後も引き続き、私立幼稚園に対する給付費を適正に給付します。
37	私立幼稚園の実費徴収に係る補足給付	教育総務課 保育幼稚園課	3	低所得世帯又は第3子以降の幼児を保育する保護者に対し、給食費の一部（副食費）を補助することにより、私立幼稚園に通う幼児の保護者の給食費に係る負担を軽減することができました。 今後も引き続き、実費徴収に係る補足給付費を適正に給付します。
38	補助教員の配置	教育総務課 保育幼稚園課	3	支援を要する幼児に対して補助教員を加配し、発達段階や課題に応じて、個別に声掛けや遊びの提示等を実施することにより、集団生活への適応に向けた支援を行うことができました。 今後も引き続き、支援を要する幼児の数や支援内容などに基つき、補助教員を配置します。

学識経験者からの意見

- 保護者の働き方、家庭の状況も様々である現在、機をとらえた保護者の保育参加への促し、保護者のニーズに応じた預かり保育の在り方は、信頼される幼稚園経営につながっていると言える。取組みの『見える化』（17ページ）におけるアンケートの肯定的な回答がほぼ100%に近いことは多大なる成果である。
- 就学前教育によって成長するのは非認知能力であり、非認知能力を幼児期に身に付けることが大人になってからの生活の大きな差につながるとともに、幼児期における語彙数、多様な運動経験等がその後の学力、運動能力に影響するという研究結果がある。遊びや友達とのかかわりを通して非認知能力を育むための教育環境を充実させていることが素晴らしい。
- 「信頼される幼稚園の実現」のためには、まずは幼児から信頼されること、そして保護者や地域から信頼されることが重要である。幼児の主体的な活動を促すための環境の構成の工夫や、小学校交流やお楽しみ会等の園行事では、保護者同士や同年代の子どもが交流する機会が増加するような工夫をしていることが素晴らしい。
- 幼稚園教育要領では、幼稚園教育において育みたい資質・能力として「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等の基礎」が示されている。これらの資質・能力を育むためには、教員としての「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身に付け、研究と修養で磨き続け、努力することで維持し、向上させていかなければならない。園内外での研修、外部指導者を招いての研修等、教員の資質・能力を向上させるための研修が充実している。今後も継続した取組みに期待したい。
- 幼児の就学への不安を和らげ、小学校教育への円滑な接続を図るための交流会や、現状や課題についての共通理解を深めるための教員間における交流活動や授業参観等は、幼保小の連携が図られた素晴らしい取組みであると高く評価できる。
- 幼保小の連携基盤があるため、取組みの『見える化』（29ページ、30ページ）におけるアンケートの回答が高い数値になっており、土台作りができていると言える。今後もさらなる工夫、継続をしていただきたい。
- 幼保小の連携については、進学先の小学校が複数、また私立幼稚園独自の取組み等もある中で、各幼稚園の取組みの良さを生かしながら、交流活動が活発に行われていることは素晴らしい。今後も、子ども同士の交流、教職員同士の交流等、それぞれの目的、時期、内容についてもそれぞれの地区の取組みの好事例等をもとに検討し、推進していただきたい。
- 小学校におけるスタートカリキュラムと園における5歳児のカリキュラムの理念を双方が協議し、理解し合うことで、子どもにとっても保護者にとっても、効果のある教育になっていくものとする。幼保小連絡会は交流活動の協議にとどまらず、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有し、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るような取組みにしていきたいと思います。

施策2 子どもたちに未来を切り拓く力を育みます

1 SDGs実現のためのE SDの推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
39	SDGsを達成するための教科を超えた問題解決的な学習の推進	指導課	3	全小・中学校がSDGsの視点を取り入れた教育計画を編成し、教育課程全体を通して継続的にSDGs実現のための教育（E SD）に取り組み、全小・中学校が「久喜市SDGs推進パートナー」に登録されました。また、各校特色を活かした教育を推進し、地域・企業等と連携しながら、環境教育、主権者教育、キャリア教育の充実を図ることができました。 今後も、児童生徒が地域・社会の一員として、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を高めることができるよう、これまでの実践を踏まえた教育課程の一層の改善を行います。
40	発達の段階に応じたキャリア教育の推進	指導課		
41	SDGs実現のためのE SD研究委員会による実践研究の推進	指導課		
42	学校の教育活動全体を通じた環境教育の推進	指導課		
43	小・中学校段階から主権者としての意識涵養につながる取組みの推進	指導課		
44	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 64.0% 中 57.0%	小 68.0% 中 63.0%	小 72.0% 中 69.0%	小 76.0% 中 75.0%	小 80.0% 中 80.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 56.5% 中 45.0%	小 84.1% 中 66.1%	小 85.6% 中 74.9%	小 83.3% 中 75.2%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

２ 学力向上を目指した教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
45	学力向上推進研究委員会による実践研究の推進	指導課	3	児童生徒一人ひとりの特性や実態に応じて、可能性を最大限引き出すため、文部科学省のリーディングＤＸスクール事業を積極的に活用し、授業公開や事例集の作成、各研究委員会の活動の充実を通じた教職員の指導力向上に取組みました。 久喜市ステップアップテストやくき本樹塾等を実施し、個別最適な学びの環境を整備しました。くき本樹塾には、市内２８３名の中学生が参加しました。参加した生徒は参加していない生徒と比較し、久喜市ステップアップテストの伸び率が高く、学力の向上が見られました。 また、ＩＣＴを効果的に活用した個別最適な学びを進めたことにより、埼玉県学力・学習状況調査において、学習方略及び非認知能力の数値が県の平均を上回るとともに、学力を伸ばした児童生徒の割合が多くの学年・教科で県の平均を上回りました。 同調査における得点率において、県の平均点を下回っている教科が複数あることが課題として挙げられますが、自ら学びに向かう力が高まっていることから、今後も、より一層ＩＣＴを効果的に活用した個別最適な学びを充実させることができるコーディネーターたる教職員を育成していきます。
46	全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用	指導課		
47	校内研修を支援する学校訪問の実施	指導課		
48	久喜市ステップアップテストの実施	指導課		
49	学習支援カルテの活用	指導課		
50	２年間の研究委嘱と計画的・継続的な学校訪問の実施	指導課		
51	個に応じた指導の推進	指導課		
52	個に応じた学習問題の提供	指導課		
53	ＩＣＴ機器の効果的な活用についての事例集の作成及び研修会の実施	指導課		
54	放課後等学習支援「くき本樹塾」の実施 ※再掲（連番 No.120）	指導課		
55	小学校と中学校の連携を図った教育課程編成の推進	指導課		
56	教員の「兼務発令」の実施	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
学力を伸ばした児童生徒の割合 【指導課】	目標値			国語 77.0% 算数・数学 82.0% 英語 82.0%	国語 84.0% 算数・数学 86.0% 英語 86.0%	国語 91.0% 算数・数学 90.0% 英語 90.0%	国語 97.0% 算数・数学 95.0% 英語 95.0%	国語 100% 算数・数学 100% 英語 100%	埼玉県学力・学習状況調査
	実績値	国語 63.4% 算数・数学 66.1% 英語 78.5%	国語 60.3% 算数・数学 52.6% 英語 63.3%	国語 60.6% 算数・数学 62.0% 英語 74.5%	国語 71.9% 算数・数学 69.4% 英語 81.1%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 「久喜市版未来の教室」の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
57	オンライン教室の推進	指導課	3	全小・中学校において1人1台端末やクラウド環境を学習に活用し、オンライン教育、個別最適な学びを推進することができました。教職員のICT活用力については、昨年度に比べて微減となりましたが、目標値を超える結果となりました。 今後は、子どもたちにとって身近になったデジタルツールを創造的・建設的に利用できるよう、デジタル・シティズンシップ教育の充実を図っていきます。
58	クラウドを活用した個別最適な学びの推進	指導課		
59	STEAM化された学びの推進	指導課		
60	情報モラル教育（デジタル・シティズンシップ教育）の実施	指導課		
61	教職員のICT活用力の向上	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
授業にICTを活用して指導することができる教員の割合 【指導課】	目標値			85.0%	90.0%	95.0%	98.0%	100%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）
	実績値	77.7%	83.4%	93.4%	92.7%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 STEAM教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
62	1人1台端末を活用した学習の推進	指導課	3	全小・中学校が、地域や企業と連携したSTEAM教育に取り組み、情報活用能力を含む汎用的な資質・能力を育むことができました。 今後は、より充実したSTEAM教育に取り組むため、機器の整備や各校への貸し出し等、環境整備を進めるとともに、各学校の実態に応じた指導計画の立案や教員の指導力向上に資する研修を実施していきます。
63	地域や企業等との連携	指導課		
64	プログラミング教育の実施	指導課		
65	小学校理科支援員の配置	指導課		
66	小学校理科教育研修会の実施	指導課		

■取組みの『見える化』

「小学5年生まで（中学2年生のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」児童生徒の割合【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小 83.0% 中 77.0%	小 85.0% 中 80.0%	小 88.0% 中 83.0%	小 92.0% 中 88.0%	小 95.0% 中 95.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 79.4% 中 74.0%	小 81.7% 中 76.8%	小 85.2% 中 81.7%	小 84.5% 中 80.5%	—	—	—	
「小学5年生まで（中学2年生のとき）に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていた」児童生徒の割合【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小 77.0% 中 80.0%	小 80.0% 中 85.0%	小 85.0% 中 88.0%	小 91.0% 中 93.0%	小 95.0% 中 95.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 73.9% 中 75.7%	— ※2	— ※2	— ※2	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和4年度より全国学力・学習状況調査において当該項目がなくなったため実績値はありません。

5 グローバル社会で活躍するコミュニケーション能力を育む外国語教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
67	児童生徒のコミュニケーション能力を高める外国語活動及び英語教育の充実	指導課	2	A L Tを活用した外国語活動及び英語授業、英語検定受験料補助、イングリッシュキャンプ、ローズバーグ市との国際親善交流事業等を通して、児童生徒の英語及び国際社会への興味関心を高めることができました。 一方で、英語検定3級以上の英語力を有する生徒の割合が減少し続けていることが課題です。埼玉県学力・学習状況調査の結果から、英語力の二極化傾向がみられるため、イングリッシュキャンプや国際交流事業等といった参加児童生徒の興味関心を高める行事だけでなく、学校の英語授業の質の向上が必要です。英語が苦手な生徒も含めた全ての生徒の英語力向上の機会が授業であることから、全生徒の英語力向上につながるような授業改善を図っていきます。
68	英語検定受験料補助等の実施	指導課		
69	文部科学省C B TシステムM E X C B Tを活用した英語検定過去問の配信	指導課		
70	姉妹都市提携をしているローズバーグ市との久喜市中学生国際親善交流事業	指導課		
71	久喜市小学生イングリッシュキャンプの実施	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
中学校卒業段階で英語検定3級以上の英語力を有する生徒の割合 【指導課】	目標値			64.0%	68.0%	70.0%	76.0%	80.0%	英語教育実施状況調査 (文部科学省)
	実績値	58.6%	58.3%	57.7%	57.1%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

6 幼稚園・保育所・認定こども園から中学校までの12年間を一体として捉えた教育の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
72	久喜市幼保小連携会の開催 ※再掲（連番 No.35）	指導課	3	久喜市幼保小連絡会を年2回開催して情報交換を行いました。目指す子ども像のゴールを義務教育の修了時までとし、幼保小の職員がどのような交流活動ができるのか協議し計画しました。地区毎に取組内容に差異が生じているため、今後は市全体としての方針を明確にし、連絡会の中・長期目標を共有しながら実施を進めていきます。 また、中学校の教諭が小学校での指導を兼任する取組みを通して、学びの連続性を強化することができました。どの教科を兼任すると学びがより深まり広がるのか等、今後も継続して検討していきます。
73	小学校高学年の教科担任制による教科指導の充実	指導課		
74	幼稚園・保育所・認定こども園と中学校との交流	指導課		
75	小・中一貫教育の推進	指導課		

■取組みの『見える化』

「前年度までに、近隣等の中学校【小学校の場合】（小学校【中学校の場合】）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った」小・中学校の割合【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値	目標値	小 92.0% 中 88.0%	小 94.0% 中 91.0%	小 96.0% 中 94.0%	小 98.0% 中 97.0%	小 100% 中 100%	
	実績値	小 85.7% 中 80.0%	小 76.2% 中 70.0%	小 90.5% 中 80.0%	小 85.7% 中 90.0%	—	—	—	全国学力・学習状況調査

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

学識経験者からの意見

- 「久喜市SDGs推進パートナー登録制度」に全小・中学校が登録していることは、市を挙げた持続可能なまちづくりに寄与し、これからの社会を担う子どもたちを育成するうえで大変価値のあることである。さらに地域や企業と連携することで、わが町を知り、社会を知ることとなり、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力の育成につながる。
- SDGs実現のため、全小・中学校において、教科を超えた問題解決的な学習の推進、キャリア教育・環境教育・主権者教育の推進に取り組んでいることは素晴らしい。
- SDGs実現のためのESD研究委員会を組織し、実践研究を推進している。今後の研究成果の活用に期待したい。
- 「学力向上推進研究会による実践研究の推進」「ICT機器の効果的な活用についての事例集の作成及び研修会の実施」は、教職員の指導力の向上に大いに寄与している。
- 「久喜市版未来の教室」の推進の取組みは、近隣地域と比較してもかなり進んでいると言える。
- 「久喜市ステップアップテストの実施」「くさ本樹塾の実施」「学習支援カルテの活用」「個に応じた学習問題の提供」等は、まさに「個別最適な学び」が実現されている。その結果は、取組

みの『見える化』（２４ページ）の「学力を伸ばした児童生徒の割合」の数値に表れている。

- 板書を意識した導入・展開・終末、挙手で進むだけの古典的な授業展開からの脱却が、「教師が教える」だけの授業から「子どもが学ぶ」授業の実現につながり、児童生徒一人ひとりの学びが保証され、学力向上につながっている。学校間格差、教師間格差が児童生徒のＩＣＴ活用状況に影響しないよう、今後も先進的に取り組んでいただくことを期待する。
- 学校には様々な教員がおり、経験や得意分野も様々であり、ＩＣＴを効果的に活用する能力も様々である。今後も全ての教員がＩＣＴを効果的に活用する能力を高めるための研修の充実に努めていただきたい。
- デジタル・シティズンシップ能力は、スキル・知識のみならず、価値観・態度も含まれる。学習機会は日常の教科の中、生徒会活動、保護者や地域社会との連携等、より広い学校活動の中に生まれる。全国学力・学習状況調査でも、ＩＣＴ機器の活用に自信がある児童生徒ほど、自分と違う意見や新たな考えについて検討することに前向きで、探究的な学びに取り組んでいる傾向にあるという結果が出ている。学校の年間指導計画を見直し、あらゆる場面での学びに生かし、テクノロジーの良き使い手になるための教育を推進していただきたい。
- 全小・中学生に学習者用端末が配布され活用されている。当然のことながら情報モラル教育が欠かせない。今後もその充実に努めていただきたい。

施策3 豊かな感性と他者を尊重する心を養います

1 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
76	「久喜の子ども、5つの誓い」の学校・家庭・地域の連携	指導課	3	「久喜の子ども、5つの誓い（一読・十笑・百吸・千字・万歩）」を市立幼稚園と小・中学校に掲示し、心身健やかに生きようとする児童生徒の態度を涵養することができました。また就学時健康診断にて次年度就学する児童の保護者に資料を配付し、より一層の推進を図りました。
77	「久喜の子ども、5つの誓い」の学校における活用の推進	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 89.0% 中 87.0%	小 90.0% 中 88.0%	小 90.0% 中 89.0%	小 90.0% 中 90.0%	小 90.0% 中 90.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 88.9% 中 85.3%	小 88.4% 中 81.6%	小 88.9% 中 85.5%	小 91.2% 中 87.6%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 道徳教育の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
78	「考え、議論する道徳」への授業改善	指導課	3	デジタル教材やタブレット端末を活用し、登場人物の心情を視覚的に捉えたり、自らの意見を共有したりする授業を展開することができました。児童生徒が学級全体の議論に参加する機会が増え、意見交換が活発となりました。
79	久喜市版道徳教育リーフレットの活用 ※再掲（連番 No.93）	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「自分には、よいところがあると思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 84.0% 中 83.0%	小 85.0% 中 85.0%	小 87.0% 中 87.0%	小 89.0% 中 89.0%	小 90.0% 中 90.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 82.0% 中 81.0%	小 85.3% 中 81.4%	小 87.2% 中 83.8%	小 89.4% 中 86.5%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 児童生徒への人権教育の充実（再掲）

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
80	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用、体験学習の実施 ※再掲（連番 No.5）	指導課	3	多様性、共生社会に係る視座を高める人権教育の一環として、各校の教育指導計画の中に「生命（いのち）の安全教育」を位置づけ、取り組みました。また、子どもたちが性被害・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、性に関する情報を正しく選択する思考力や判断力、適切に行動する表現力を育成することができました。
81	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲（連番 No.6）	指導課		
82	多様性、共生社会に係る視座を高める人権教育の推進 ※再掲（連番 No.7）	指導課		

■取組みの『見える化』

「人が困っているときは、進んで助けている」児童生徒の割合（再掲） 【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小 92.0% 中 92.0%	小 94.0% 中 94.0%	小 96.0% 中 96.0%	小 98.0% 中 98.0%	小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 89.9% 中 89.8%	小 93.8% 中 88.0%	小 93.5% 中 89.4%	小 94.0% 中 90.2%	—	—	—	
「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合（再掲） 【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小 98.0% 中 97.0%	小 98.5% 中 98.0%	小 99.0% 中 99.0%	小 99.5% 中 99.5%	小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 96.0% 中 95.0%	小 97.1% 中 92.8%	小 97.4% 中 95.0%	小 97.0% 中 96.1%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 教職員への人権教育の推進（再掲）

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
83	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲（連番 No.8）	指導課	3	学校現場における人権教育の推進と教育公務員としての人権感覚の向上を目的に、全教職員対象の研修会を実施し、ジェンダーギャップや子どもの人権、性的指向・性自認についての認識を深めることができました。 今後も、教職員が様々な人権問題についての正しい理解のもと指導に当たることができるよう、研修を継続して実施していきます。
84	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲（連番 No.9）	指導課		
85	校長同和教育研修会の実施 ※再掲（連番 No.10）	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
教職員人権教育研修会等 開催回数（再掲） 【指導課】	目標値			7回	7回	7回	7回	7回	
	実績値	7回	7回	7回	4回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 読書活動の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
86	朝読書、読書週間等の充実	指導課	3	児童生徒とともに教員も読み浸る朝読書、「家読」、読書の意義を考える読書週間・読書月間等の充実に取組み、様々な方法で読書活動を推進しました。小学1年生に市立図書館利用カードを配布し、積極的に図書館を利用する環境の充実に取組みました。また、各校の司書教諭と各図書館がつながるチャットルームを運用し、連携強化を図りました。 今後も、市内各校の学校図書館を拠点とした読書活動の充実に取り組んでいきます。
87	県立図書館、市立図書館と連携した児童生徒の読書環境の充実	指導課		
88	家庭での読書「家読」の推進	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
1日1回は読書をしている児童生徒の割合（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 【指導課】	目標値			小80.0% 中70.0%	小83.0% 中75.0%	小85.0% 中80.0%	小90.0% 中85.0%	小95.0% 中90.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小76.8% 中64.5%	小78.9% 中64.6%	— ※2	— ※2	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和5年度より全国学力・学習状況調査において当該項目がなくなったため実績値はありません。

6 体験活動の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
89	発達の段階に応じた体験活動の計画的な実施	指導課	3	学校応援団や地域ボランティアとの関わりにより、農業体験や地域教育、福祉教育等、地域と連携した体験活動を充実させることができました。 今後も「地域とともにある学校」として、積極的に地域へ情報発信を行い、地域の宝である子どもたちの教育への理解及び協力をいただけるよう努めていく必要があります。
90	家庭、地域と連携を図った自然体験、文化活動等の体験活動の充実	指導課		
91	地域の行事等を生かした体験活動の充実	指導課		
92	小学校における学校動物飼育の推進	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「今住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 63.5% 中 48.5%	小 65.0% 中 50.0%	小 66.5% 中 51.5%	小 68.0% 中 53.0%	小 70.0% 中 55.0%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 52.7% 中 45.7%	小 63.1% 中 42.3%	— ※2	— ※2	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和5年度より全国学力・学習状況調査において当該項目がなくなったため実績値はありません。

7 いじめや不登校、非行・問題行動等の防止対策の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
93	久喜市版道徳教育リーフレットの活用 ※再掲（連番 No.79）	指導課	3	1人1台端末を活用しいじめアンケートを行い、市のいじめ防止等の基本的な方針の改訂を行うなど、いじめの未然防止・早期発見・早期解決のための取組みを充実させました。令和6年度のいじめ認知件数は、小学校369件（前年度比278減）・中学校45件（9減）となりました。 また、各種専門職による相談体制の充実や、教育支援センター、共同オンライン分教室（KDX）の設置、市内全中学校に校内教育支援センターを開設し、教室に入ることが難しい生徒にとっての学習環境の充実に取り組みました。令和6年度に不登校となった人数が、昨年度と比べて小学校3人減、中学校17人減となりました。 こうした様々な取組みを通して、いじめや不登校の件数が減少してきています。今後も、児童生徒一人ひとりの状況に寄り添った支援を継続していきます。
94	いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた取組みの推進	指導課		
95	子どもたちがICTを適切・安全に使いこなす情報活用能力の育成の推進	指導課		
96	学校・家庭・地域が一体となった積極的な生徒指導の推進	指導課		
97	不登校の解消を図る指導・支援体制の充実	指導課		
98	教育支援センター所長・指導員とスクールソーシャルワーカーによる家庭訪問指導、相談の実施	指導課		
99	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲（連番 No.102）	指導課		
100	不登校傾向の生徒に個に応じた学習の保障	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	埼玉県生徒指導に関する調査
いじめの解消率 ※2 （翌年度7月末実績） 【指導課】	実績値	小100% 中100%	小99.7% 中100%	小99.7% 中94.4%	小99.5% 中100%	—	—	—	
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
				小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	全国学力・学習状況調査
	実績値	小100% 中100%	小97.6% 中95.1%	小97.4% 中95.2%	小97.8% 中95.5%	—	—	—	

基本目標 2 心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
不登校児童生徒数（市内 全児童生徒に対する割合） 【指導課】	目標値			小 33 人 (0.50%) 中 113 人 (3.20%)	小 29 人 (0.45%) 中 100 人 (2.90%)	小 26 人 (0.40%) 中 89 人 (2.60%)	小 22 人 (0.35%) 中 78 人 (2.30%)	小 18 人 (0.30%) 中 68 人 (2.00%)	文部科学省 調査児童生 徒の問題行 動・不登校 等生徒指導 上の諸問題 に関する調 査
	実績値	小 43 人 (0.63%) 中 138 人 (3.87%)	小 68 人 (1.00%) 中 187 人 (5.28%)	小 69 人 (1.03%) 中 196 人 (5.70%)	小 66 人 (0.99%) 中 179 人 (5.28%)	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
不登校児童生徒のうち、 多様な学びの場により、 学習指導等を受けている 児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 55.0% 中 63.0%	小 60.0% 中 66.0%	小 65.0% 中 69.0%	小 70.0% 中 72.0%	小 75.0% 中 75.0%	
	実績値	小 46.5% 中 56.5%	小 48.5% 中 43.3%	小 55.1% 中 42.9%	小 54.5% 中 62.0%	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 いじめの解消とは、いじめが止んでいる状態が3か月継続している状況のこと。

8 教育相談体制の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
101	教育相談の充実	指導課	3	昨年度に引き続き小・中学校配置の教育相談員やスクールカウンセラーによる相談体制、教育委員会配置の心理専門員やスクールソーシャルワーカー等による専門的な支援体制を整備し、教育相談体制の充実を図ることができました。 8月開催の教育相談研修会には66名、7～8月開催の生徒指導・教育相談中級研修会には23名の相談対応職員が参加し、いじめ不登校等の諸課題に対するカウンセリングの技法や事例研修を通し、カウンセリング技能の向上を図りました。
102	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲（連番 No.99）	指導課		
103	教育相談研修会の実施	指導課		
104	生徒指導・教育相談中級研修会の開催	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「学校の先生たちは自分の悩みの相談にのってくれた」と回答した児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 93.0% 中 93.0%	小 94.0% 中 94.0%	小 96.0% 中 96.0%	小 98.0% 中 98.0%	小 100% 中 100%	埼玉県学 力・学習状 況調査
	実績値	小 90.1% 中 91.4%	小 86.7% 中 90.9%	小 85.7% 中 90.6%	小 90.5% 中 94.4%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

9 インクルーシブ教育体制の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
105	ユニバーサルデザインの授業の推進	指導課	3	教職員に対し特別支援教育への理解を深めるための研修を実施するとともに、各学校に「ユニバーサルデザインチェックリスト」を配布し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境や授業デザインが推進されるよう取り組みました。また、全学校に特別支援学級を設置、ことばの教室を3校6教室、情緒の教室を3校4教室設置し、専門的な指導を受けられるよう、多様な学びの場の充実を図ることができました。 さらに、こども家庭保健課や障がい者福祉課、特別支援学校と連携し、早期からの就学支援・発達相談につなげることができました。 今後も、人的配置の充実とともに、周囲の適切な理解と合理的配慮に基づいた教育機会を提供していきます。
106	特別支援教育に係る教職員研修の実施	指導課		
107	「個別の支援計画・指導計画」の作成と活用の推進	指導課		
108	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援の充実	指導課		
109	関係機関と連携した就学支援・発達相談の充実	指導課		
110	特別支援教育巡回指導、県立特別支援学校との連携	指導課		
111	通級指導教室の運営の充実	指導課		
112	支援籍学習の充実	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
通常の学級に在籍する特別の教育的支援が必要な児童生徒の個別の指導計画作成率 【指導課】	目標値			92.3%	94.2%	96.1%	98.0%	100%	
	実績値	88.5%	78.1%	95.7%	100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

10 日本語指導の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
113	小・中学校に在籍する外国籍児童生徒の日本語指導の推進	指導課	3	日本語指導が必要な児童生徒に対し、個々のレベルに応じた指導を行うことができるよう、日本語指導を担っている職員の協議会の場を設け、情報共有や現状の課題についての研修を行いました。また、日本語指導員を1名増員し、日本語指導が必要な児童生徒数の増加に対応した指導時間を確保することができました。
114	I C Tを活用した日本語指導の推進	指導課		その結果、日本語能力が向上した児童生徒の割合は増加しており、取組みの成果が出ていると見られます。今後も適切な指導が行きわたるよう、人材確保とあわせて日本語指導を行う教員等への研修も実施していきます。

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
日本語能力が向上した児童生徒の割合 【指導課】	目標値			64.0%	68.0%	72.0%	76.0%	80.0%	
	実績値	56.0%	68.6%	70.0%	75.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

学識経験者からの意見

- 「「久喜の子ども、5つの誓い」の推進」は、久喜市独自の大変素晴らしい取組みである。各学校に掲示がしてあるとのことだが、さらに定着するよう各学校で工夫し、良い取組みを他の学校と共有してはどうか。
- 朝読書、読書週間等の充実に加え、県立図書館、市立図書館と連携した児童生徒の読書環境の充実に工夫がみられる。全国学力・学習状況調査でも、読書が好きと回答する児童生徒の割合が年々減少している。読書環境は家庭により様々であるが、学校教育でこそ読書活動を一様に取り入れられるものである。教員も読み浸る朝読書や、各校の司書教諭と各図書館がつながるチャットルームの運用等は、読書の素晴らしさを実感させる取組みとなっている。読書の推進は学力向上にもつながるため、今後も継続して取組んでいただきたい。
- いじめや不登校、非行・問題行動等の防止対策については、児童生徒一人ひとりが抱えている課題が異なり、多様化・複雑化している。そのような中、全中学校に校内教育支援センターを開設する等の様々な取組みにより、いじめの解消率はほぼ100%となり、不登校児童生徒の減少、不登校児童生徒の学びの場の保障、先生たちが相談にのってくれていると実感する児童

生徒の割合の増加、全てにおいて成果となって結果に表れている。

- いじめや不登校、非行・問題行動等の防止対策の推進については、施策3の取組み全てを、全学校が確実に実施していくことが重要であるが、児童生徒の実態、保護者の実態、地域の実態等は各学校によって異なる。そこで重要になるのが、各学校の生徒指導推進委員会である。活動を充実させるとともに、必要に応じて教育委員会が支援をしていただきたい。
- 「ユニバーサルデザインチェックリスト」の配布や人的配置等、各学校のインクルーシブ教育体制の充実に向けて教育委員会を挙げて一丸となって取り組んでいることが伺われる。特に他課、他機関との連携による早期からの就学相談は、保護者にとってもありがたく、小学校にとってもどのような手立て・支援をしていけばよいかにつながる。また、取組みの『見える化』（35ページ）の「通常の学級に在籍する特別の教育的支援が必要な児童生徒の個別の指導計画作成率」は100%であり、目標値を早々達成し、それを活用して素晴らしい。このことは、施策1「質の高い幼児教育を行います」の大項目3「教員の教育実践力の向上」（19ページ）における、個別支援計画の作成による特別支援教育への理解とも連動するものであり、保幼小及び小中の連携がなされている成果である。

施策 4 絆を深め、地域社会と連携した教育を推進します

1 学校運営協議会の活動の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
115	各学校における学校運営協議会への指導・支援の実施	指導課	3	市内各校の学校運営協議会委員を対象にした全員研修会を実施し、委員同士が情報を交換したり、好事例を共有したりする機会を設けました。 地域社会と連携した学校の取組みが今後も持続的に推進されるよう、引き続き交流の機会を設定し、情報提供を行っていきます。
116	学校運営協議会研修会の実施	指導課		

■取組みの『見える化』

指導計画の作成に当たり、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用している割合 【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	全国学力・ 学習状況調査
	実績値	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 地域学校協働活動の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
117	家庭・地域への学校の取組みの積極的な公開の実施	指導課	3	地元企業等と連携した学習や、地域学習の好事例を全小・中学校で共有し、学校・家庭・地域の連携・協働を促進することができました。また、教職員を対象に研修会を開催し、市内各校の学習計画の好事例を共有したり、情報交換の場を設けたりすることで、各校が効果的な地域学習を計画できるように取組みました。地域全体を教育の場とした、質の高い探究的な学びを推進するなど、児童生徒の学びの機会の充実を図ることができました。 持続可能な地域連携・協働の在り方を引き続き見直しながら、学びの主体となる児童生徒がより豊かに学ぶことができるように検討を続けていく必要があります。
118	家庭教育学級の実施 ※再掲（連番 No.182）	生涯学習課		
119	学校・家庭・地域が連携した、子どもたちの学びの機会の充実 ※再掲（連番 No.196）	生涯学習課		
120	放課後等学習支援「くき本樹塾」の実施 ※再掲（連番 No.54）	指導課		
121	地域学習の計画的・継続的な実施	指導課		

■取組みの『見える化』

「保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった」と思う学校の割合 【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値				小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査
実績値		小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	— ※2	— ※2	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和5年度より全国学力・学習状況調査において当該項目がなくなったため実績値はありません。

3 「チーム学校」による教育の質の向上と働き方改革の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
122	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の配置	指導課	3	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の専門スタッフの配置により、教育の質の向上を図りました。また、教職員の校務端末を更改してクラウドを活用した校務DXの体制を整備したり、スクール・サポート・スタッフを配置したりすることで、教職員の事務負担の軽減を図りました。 また、地域クラブの設立を進め、休日の部活動の地域移行を推進することができました。今後も、地域クラブが持続的に活動できる体制の整備を進めていく必要があります。
123	スクール・サポート・スタッフの配置	指導課		
124	部活動指導員の配置	指導課		
125	休日の部活動の地域移行に向けた実践研究の推進	指導課		
126	クラウド・バイ・デフォルトによる働き方改革の推進	指導課		

4 キャリアステージに応じた体系的な研修の実施

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
127	初任者研修の実施	指導課	3	各教員のキャリアステージやニーズに応じ、各種研修を実施しました。ミドルリーダー研修では、受講者が学力向上や生徒指導などといったテーマを自分で選択できる形式とし、一人ひとりのニーズに寄り添った形で資質・能力の向上を図ることができました。 今後も、教育に係る社会情勢の変化や、それに伴う教員のニーズを正確に把握することで、最適な研修計画を立案、実施していく必要があります。
128	ミドルリーダー研修会の実施	指導課		
129	教員のキャリアステージやニーズに応じた研修の実施	指導課		

■取組みの『見える化』

市教育委員会主催の研修		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
に対する満足度「日々の校務に役立つ研修である」と肯定的な回答が得られた割合	目標値			70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	参加教職員アンケート
【指導課】	実績値	現状値なし (令和4年度調査開始)	86.5%	87.0%	87.5%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 教職員健康診断を通じた心身の健康保持増進と疾病予防

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
130	教職員健康診断の実施	指導課	3	教職員定期健康診断や結核の早期発見のための検査や養護教諭に向けた B 型肝炎検査、また、健康管理医による教職員の健康相談・健康指導、ストレスチェックを実施しました。各学校のストレスチェックは、集団分析シートを管理職に通知し、職場環境改善の推進を図りました。 精神疾患を理由とする教職員の休職者数が増加しており、適切なケアと働き方改革の推進が必要です。
131	健康管理医の派遣	指導課		
132	ストレスチェックの実施	指導課		

学識経験者からの意見

- 学校運営協議会の活動の充実、学校の取組みの積極的な情報発信を進めているが、多様化・複雑化する子どもたち一人ひとりの健全な成長を保証するためには、今後ますます多角的かつ客観的な視点から学校事象をとらえることが重要となる。家庭内事情や家庭での子どもの姿、放課後の行動、地域の姿を理解し、学校が自覚しにくい問題の指摘を得るためにも、学校運営協議会は大切な場となる。今後も研修会・交流会の場において、好事例の共有を継続していただきたい。
- 全小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとして学校・家庭・地域が一体となって教育活動を展開していることは素晴らしい。現行学習指導要領が求める「社会に開かれた教育課程」が実現されている。さらに、学校運営協議会研修会を開催し、委員同士の交流や情報交換を行い、学校運営協議会の質の向上、組織力の向上にも努めており素晴らしい。
- 学校応援団、放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）、くさ木樹塾の活動等、全ての取組みが、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」に大いに貢献している。また、地元企業等と連携した学習や地域学習、学習計画の好事例等を全小・中学校で共有する取組みも素晴らしい。
- 教員の働き方改革を推進するための最も効果的な方策は人的配置である。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフの配置は勿論のこと、スクール・サポート・スタッフや ICT 支援員、部活動指導員等の配置をさらに充実させることにより、教員の事務負担の軽減を図っていただきたい。
- 教員の研修について、キャリアステージに応じた体系的な研修や受講テーマを自分で選択できる形式としたことは、教員自身が自己のキャリアアップのための主体的な学びの一助となり、満足度も高いものとなっていると言える。
- 個別最適な学び、協働的な学びの充実を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められるものであり、その姿は子どもたちの学びの相似形である。「自分にとって何が学ぶべき教育課題なのか」を自律的に考え、構築で

きない者が、児童生徒の主体的な学びを支援することはできない。教師自身が、自分の受け持つ子どもの教育課題を見出し、自分の置かれている状況をとらえ、自身の持ち味を自覚して臨む主体性を基にした研修は、教育施策を実施するために欠かせない課題、キャリア段階に必要な課題とも連動すると考える。ぜひ、そのような研修の在り方を研究していただきたい。

- 各学校のストレスチェックの集団分析シートを管理職に通知する取組みは、管理職の意識を高め、職場環境改善等につながるため、今後も継続していただきたい。また、精神疾患を理由とする教職員の休職者の増加は、非常に悩ましい問題であると言える。制度上、休職とすることができない初任者も例外ではない。教職員の状況を早期に把握し、適切なケアにつなげていただきたい。

施策5 児童生徒の安全確保と、安全教育を推進します

1 防犯対策・交通安全対策の実施

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
133	スクールバスの運行	教育総務課	3	市内全小学校への安全監視員の配置、防犯カメラの適切な維持管理により、学校の防犯対策を行うことができました。今年度は、防犯カメラ交換工事（太東中学校）及び修繕工事（久喜東小学校、江面小学校、菖蒲小学校）を行い、児童生徒の安全をより効果的に確保することができました。 また、市職員による通学路巡回パトロール（実施日数：201日）、不審者等に関する情報提供等を行うとともに、通学路の安全点検の実施結果を関係各課と共有し対策を進めることで、児童生徒が安全・安心に通学する環境を整えることができました。 今後も地域や関係機関と連携し、学校内への不審者の侵入防止や、児童生徒の登下校時の安全確保を図っていきます。
134	防犯カメラの維持管理及び小学校安全監視員の配置	教育総務課		
135	市職員による通学路巡回パトロールの実施	教育総務課		
136	防災行政無線による帰宅を促す放送の実施	教育総務課		
137	不審者等に関する情報を関係機関に提供	教育総務課		
138	通学路の安全点検の実施、通学路の整備の推進	教育総務課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
通学路の安全点検に保護者等が参加した学校の割合 【教育総務課】	目標値			75.1%	76.4%	77.6%	78.8%	80.0%	
	実績値	72.7%	77.4%	80.6%	83.9%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 交通安全教育の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
139	交通安全教室の実施	指導課	3	全小・中学校で警察署と連携し、交通安全教室を開催し、横断歩道の渡り方や道路横断の仕方、自転車の乗り方等を指導しました。また、学校だより・ホームページ等で交通安全について啓発を行いました。児童生徒が自らの命を守るための交通安全教育の充実を図ることができました。
140	学校安全教育の実践	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
警察等と連携した交通安全教室を実施している学校の割合 【指導課】	目標値			100%	100%	100%	100%	100%	
	実績値	75.8%	93.5%	100%	100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 児童生徒の危機回避能力の育成

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
141	「自助」の力を育む実践的な災害対策訓練の実施支援	指導課	3	災害図上訓練D I G（地図を用いて、自分たちの住む地域や学校の状況を具体的にイメージしながら災害の発生をシュミレーションする訓練）を実施しました。抽象的だった「災害」について自分事として捉えることで、危機管理・危機回避能力を育成することができました。
142	「共助」の精神を育む安全教育の推進	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
災害図上訓練D I Gを実施している学校の割合 【指導課】	目標値			40.3%	43.9%	45.2%	48.4%	50.0%	
	実績値	36.4%	38.7%	45.1%	58.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 学校の危機管理体制の整備・充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
143	危機管理マニュアルの整備・改善	指導課	3	全小・中学校の安全教育担当教職員が中心となり、「学校事故対応に関する指針」を参考にし、「事前・発生時・事後」の3段階の危機管理を想定して危機管理マニュアルの見直しを行いました。学校における危機管理能力を高め、危機管理体制を整備することができました。
144	学校における危機管理能力の向上	指導課		
145	命を守るための安全教育の向上	指導課		

学識経験者からの意見

- 様々な防犯対策・交通安全対策を着実に進めているとともに、各学校も保護者や地域、警察署等と連携し、交通安全教育に取り組んでいることがわかる。
- 開発や整備により交通事情が変わっている中、どの場所が危険、交通事故が多いといったその地域だからこそ把握できる情報を、地域住民や保護者から得たり、警察署や企業（例えば保険会社等が持ち得ている交通事故状況）等と連携したりして、子どもたちの安全対策に取り組んでいただきたい。
- 小・中学校への防犯カメラの設置、小学校安全監視員の配置は、効果の高い防犯対策である。特に後者は他市町にはない取り組みであると思われる。今後も継続するとともに、中学校への配置についても検討をお願いしたい。
- 災害図上訓練の実施は、児童生徒の危機回避能力を育成し、災害発生時の主体的な判断力や、より安全な行動が実践できる力を育てている。
- 学校の危機管理マニュアルは、危険予測、被害の最小化、改善等を常に意識したものになっていないと生きて働くものにはならない。全小・中学校の安全教育担当教職員が中心となり、「事前・発生時・事後」の3段階を想定して、自校のマニュアルの見直しを進めたことは大変素晴らしい。これは、教職員全員の危機管理能力を高め、児童生徒の危機管理・危機回避能力の育成にもつながるものである。

施策6 学校の適正規模・適正配置と学校施設等の整備を推進します

1 学校の適正規模・適正配置の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
146	学校の統合等の検討に関する説明会の開催	学校施設課	3	学校の統合等の検討に関する説明会については、状況等に応じて開催するものとしており、令和6年度は開催しませんでした。児童生徒数の増減等に注視し、今後の説明会開催を検討していきます。 新校設立準備委員会では、校章・校歌及び制服等の基本的な事項をまとめた検討結果報告書が委員長から教育長へ提出されました。 令和8年4月の鷺宮西小中学校開校に向けて、校舎等整備工事や屋外運動場改修工事（第1期）の発注、家屋事前調査業務委託、テレビ電波受信障害事前調査業務委託及びテニスコートの設計業務委託を発注し、準備を進めることができました。
147	市立小・中学校学区等審議会の開催	教育総務課		
148	新校設立準備委員会の開催	学校施設課		
149	鷺宮西中学校区における義務教育学校の開校	学校施設課		

2 学校の教材・備品の計画的な点検・整備

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
150	学校教材・備品の計画的な整備の推進	教育総務課	3	小・中学校での教育活動に必要なサッカーゴールやバスケットゴール等の教材備品の整備、図書購入、児童生徒が安全に使用できるよう、鉄棒等の遊具の専門業者による安全点検及び修繕や、教職員による定期点検（目視、作動、負荷等）を実施し、児童生徒が安全に教材や備品を使用できる環境を整えることができました。
151	学校図書館図書の適正な蔵書管理の実施	教育総務課 指導課		
152	遊具等の安全対策の実施	教育総務課		

■取組みの『見える化』

学校図書館図書標準を達成している学校の割合 【教育総務課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			97.7%	98.3%	98.8%	99.4%	100%	
	実績値	96.6%	93.1%	87.1%	93.5%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 学校ICT環境の整備

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
153	児童生徒及び教職員端末整備の充足	指導課	3	大型提示装置を特別教室の約75%まで配置するとともに、学習系データと校務系データを連携できる校務支援システムを整備しました。 端末の故障・破損等への対応が課題です。 今後は、学習者用端末の更改を視野に入れた持続可能な端末の保守体制を構築するとともに、全ての特別教室に大型提示装置を配置するように進めていきます。
154	大型提示装置整備の充足	指導課		
155	校務支援システムの活用	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			児童生徒 100% 教職員 100%	児童生徒 100% 教職員 100%	児童生徒 100% 教職員 100%	児童生徒 100% 教職員 100%	児童生徒 100% 教職員 100%	
児童生徒及び教職員に対する学習者用端末、教職員用端末配置割合 【指導課】	実績値	児童生徒 100% 教職員 79.9%	児童生徒 100% 教職員 95.7%	児童生徒 100% 教職員 100%	児童生徒 100% 教職員 100%	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			普通教室 100% 特別教室 72.6%	普通教室 100% 特別教室 89.2%	普通教室 100% 特別教室 100%	普通教室 100% 特別教室 100%	普通教室 100% 特別教室 100%	
普通教室及び特別教室に対する大型提示装置配置割合 【指導課】	実績値	普通教室 100% 特別教室 0%	普通教室 100% 特別教室 38.7%	普通教室 100% 特別教室 60.8%	普通教室 100% 特別教室 74.8%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 学校施設の非構造部材の耐震化の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
156	非構造部材の耐震化の実施	学校施設課	3	本町小学校ほか3校の工事が完了し、児童生徒が安全に過ごすための環境を整備することができました。また、小林小学校ほか3校の設計業務が完了し、工事の準備ができました。 今後は、改修工事未実施の小学校4校のうち、廃校となった上内小学校を除く3校について、工事を行っていく予定です。なお、この3校の工事完了をもって校舎及び屋内運動場の非構造部材の耐震化が完了する予定です。

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
校舎及び屋内運動場の非構造部材の耐震化をした施設の割合※2 【学校施設課】	目標値			77.8%	88.9%	100%	100%	100%	
	実績値	59.5%	61.6%	77.8%	88.9%	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 校舎の非構造部材の耐震化は、平成30年度までに完了している。

5 学校施設の大規模改造

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
157	学校施設の大規模改造の実施	学校施設課	3	栗橋小学校、桜田小学校及び栗橋西中学校の大規模改造工事を実施し、学校環境の整備を図ることができました。 なお、大規模改造事業は、現在実施中の2校をもって終了し、今後は、各学校の施設の状況に応じ、必要な改修箇所に対して迅速かつ細やかに対応する方法に転換して、学校環境の整備を実施していきます。

■取組みの『見える化』

		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	備考
校舎の大規模改造工事に 着手した学校数 【学校施設課】	目標値			６校	８校	８校	１０校	１０校	延べ着手 校数
	実績値	４校	４校	６校	８校	—	—	—	

※令和３年度は計画策定時の現状値として、令和４年度は実績値の推移として記載。

学識経験者からの意見

- 学校教育におけるＩＣＴ活用については近隣市町の中でも先端を行っている。それを支える学校ＩＣＴ環境の整備については、保守、整備等抱える課題が多くあることが十分理解できる。ぜひ、教育委員会内で協議を重ね、未来を担う子どもたちのために充実を図っていただきたい。
- 学校施設の非構造部材の耐震化、学校施設の大規模改造等については、完了の見通しも立てており、計画的に着実に進めていることがわかる。
- 大規模改造には多額の予算が必要であるため、計画的な実施が重要である。トイレの整備、老朽化への対応及び再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の導入等が進められているようだが、特にトイレの整備について、最近は家庭では勿論のこと、どのような施設でも温水洗浄便座が設置されており、学校だけが取り残されているように思う。また、ＬＧＢＴＱ＋等への対応も含めて、男子用トイレの個室化についての検討も必要ではないか。

施策7 児童生徒の健康づくりを推進します

1 学校体育の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
158	児童生徒が主体的に健康生活を行い、生涯にわたり運動を行う力の育成	指導課	3	各校の体育主任等が参加する授業研究会や体力向上推進委員会を開催して体力向上に向けた授業改善を推進するとともに、中学校の運動部活動に部活動指導員を配置し生徒がより専門的な指導を受けられるようにしました。 また、近年の高温化により体育の授業等における熱中症リスクが増大していることを受け、活動しやすい時間に変更するとともに活動中には休憩時間を設け随時健康観察を行いながら、児童生徒の安全を第一に慎重に指導を行うように市内小・中学校へ注意喚起を行い、学校体育の充実とともに安全面の配慮もなされるように取り計らいました。
159	児童生徒の体力に係る課題解決に向けた指導の工夫と改善	指導課		
160	児童生徒の体力の向上を目指した体育授業づくりの支援	指導課		
161	運動部活動の充実	指導課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 86.0% 中 84.5%	小 87.0% 中 86.0%	小 88.0% 中 87.5%	小 89.0% 中 89.0%	小 90.0% 中 90.0%	
	実績値	小 83.2% 中 81.6%	小 82.2% 中 79.9%	小 81.0% 中 81.0%	小 79.5% 中 80.9%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 学校保健の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
162	「食」に関する指導の推進	指導課	3	日々の生活における手洗い・うがいの励行と合わせ、技術家庭科・学級活動・総合的な学習の時間において食に対する指導・啓発を行いました。 保健体育の学習や歯みがき教室、薬物乱用防止教室を実施し、児童生徒が自ら健康的に生活する能力や態度の育成を進めました。 また、尿検査等の定期健康診断や対象者への結核検診を行うことで、児童生徒の健康保持増進を図りました。
163	新型コロナウイルス感染症等の感染症予防につながる取組みの推進	指導課		
164	学校保健計画の作成及び実践	指導課		
165	児童生徒の健康保持増進の推進	教育総務課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
朝食を毎日食っている児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 96.0% 中 94.0%	小 97.0% 中 95.0%	小 98.0% 中 97.0%	小 99.0% 中 98.5%	小 100% 中 100%	市独自アンケート調査
	実績値	小 95.6% 中 90.0%	小 96.8% 中 88.9%	小 96.9% 中 90.1%	小 97.8% 中 90.2%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 安全・安心でおいしい学校給食の提供

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
166	おいしい学校給食の提供	学校給食課	3	毎日の学校給食を通じ望ましい食習慣を形成するため、栄養管理・衛生管理を徹底し、食物アレルギー対応を行い、安全・安心でおいしい給食を提供することができました。また、旬に合わせて献立を工夫し、久喜市産農産物を積極的に使用しました。学校給食調理コンクールにおいて、埼玉県学校食育研究会会長賞を受賞し、全国学校給食甲子園において、埼玉県代表（埼玉県ーおいしい学校給食）に選出されました。 また、市内の小・中学生とその保護者を対象に、学校給食センターわくわく探検ツアーを開催し、調理場内の見学や様々な体験ができる機会を設けました。 今後も、このような取組みを継続して実施し、学校給食の充実に努めます。
167	地産地消の推進	学校給食課		
168	食物アレルギー対応の充実	学校給食課		
169	学校給食を活用した食育の推進	学校給食課		
170	衛生管理の徹底	学校給食課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			100%	100%	100%	100%	100%	児童生徒アンケート調査
学校給食がおいしいと感じている児童生徒の割合 【学校給食課】	実績値	92.3%※2 (令和4年度)	92.6%	94.3%	94.6%	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%	
学校給食における久喜市産農産物の使用割合 【学校給食課】	実績値	18.3%	28.7%	26.9%	32.6%	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 現状値は、令和4（2022）年4月に実施したアンケート結果。

※第3期久喜市教育振興基本計画における各施策の「主な取組み」以外の取組み

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
171	学校給食費補助の実施	学校給食課	3	学校給食費補助金の交付により、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の推進を図ることができました。 学校事務職員や庁内関係課職員と連携し、事務処理の効率化を図っていきます。

学識経験者からの意見

- 異常気象とも言える高温のため、学校において運動する機会がますます減少している。運動機会を確保するとともに、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るためには、学校体育の質を高めるしかない。授業研究会の工夫・改善、体力向上推進委員会の活動の充実に大いに期待する。
- 給食に関しては、食物アレルギーや賞味期限切れの食材、異物混入等、様々な問題が報道されることがあるが、細心の注意を払って栄養管理・衛生管理を徹底したり、旬に合わせて献立を工夫し、久喜市産農産物を積極的に使用したりして、安全・安心でおいしい給食を提供していることが伺われる。また、学校給食センターわくわく探検ツアーは、給食がどのように作られているか、そして本物を見ることの体験となり、給食を身近に感じ、「食」に関する指導につながる。今後も工夫しながら継続していただきたい。



基本目標 3

地域に根差した生涯にわたる学びを進め
郷土の歴史文化を大切にする

施策1 生涯にわたり学び続けるための環境をつくります

1 多彩な生涯学習機会の提供

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
172	子ども大学くきの実施	生涯学習課	3	子ども大学くきでは、平成国際大学や久喜青年会議所と連携しながら、子どもたちに多様な学びの場を提供することで学習機会の充実を図りました。 生涯学習出前講座では、職員等が学習会や催しなどに出向いて、学習の機会を提供することで生涯学習の推進を図りました。なお、令和5年度から開始した生涯学習出前講座を活用した公開講座を、計3回開催しました。 生涯学習人材バンクでは、豊富な知識や優れた技術・技能などを持った方を指導者として登録し、学びたい人と自分の知識や技術等を教えたい人の生涯学習活動を支援しました。なお、令和5年度から開始した生涯学習人材バンクを活用した公開講座を、計6回開催しました。 家庭教育学級・子育て講座では、子育て中の保護者に対し、抱えている悩み等を相談・共有できる場を提供することで子育て支援をしました。 令和5年度に設置した「久喜市家庭教育支援チーム」（名称：ほっとほーむ）による、子育てサロンを計3回開催し、参加者同士の交流や悩みの相談を行い、子育て支援をしました。 久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」については、年2回広報紙に折り込む形で発行し、広く市民に生涯学習活動を周知しました。 生涯学習研修大会（まなびすとフォーラム）では、学校・家庭・地域等それぞれの立場から地域での課題に対して、情報交換や意見交換を行うことで、地域課題の解決への一助とすることができました。 また、生涯学習推進大会（まなびすと久喜）では、降雪の予報及び当日雨天であったせいか、参加者者数が例年より減少しましたが、生涯学習活動団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提
173	生涯学習出前講座の実施	生涯学習課		
174	生涯学習出前講座を活用した市民向け公開講座の実施	生涯学習課		
175	市民大学講座の充実 ※再掲（連番 No.190）	生涯学習課		
176	市民大学公開講座の充実 ※再掲（連番 No.191）	生涯学習課		
177	高齢者大学講座の充実 ※再掲（連番 No.192）	生涯学習課		
178	高齢者大学における学校行事（体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等）の充実 ※再掲（連番 No.193）	生涯学習課		
179	高齢者大学における自主活動（クラブ活動、ボランティア活動）の充実 ※再掲（連番 No.194）	生涯学習課		
180	生涯学習人材バンクの活用の促進	生涯学習課		
181	生涯学習人材バンクを活用した市民向け公開講座の実施	生涯学習課		
182	家庭教育学級の実施 ※再掲（連番 No.118）	生涯学習課		
183	子育て講座（親の学習）の実施	生涯学習課		

基本目標3 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする

184	埼玉県家庭教育アドバイザーによる子育て支援の推進	生涯学習課	供することで、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただき、生涯学習意欲の喚起につなげることができました。 生涯学習施設「まなびすポット」では、市民大学・大学院・高齢者大学の講座を中心に、生涯学習推進部による活動、各種講座、高齢者大学生の自主的な活動など、幅広く学習の場を提供し、多くの市民の生涯学習活動を支援することで施設の活用を図りました。 今後も、市民大学・大学院・高齢者大学及び生涯学習推進部の活動拠点である生涯学習施設「まなびすポット」を中心に、市民の多様化・拡大化するニーズに対応した学習内容や発表機会を設けることで、生涯学習関連の講座・教室の参加者数の増加につなげ、コロナ禍以前の水準となるよう、市民の生涯にわたる学びの更なる充実を図っていきます。
185	生涯学習情報紙「まなびすと久喜」の発行	生涯学習課	
186	生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の実施	生涯学習課	
187	生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の実施	生涯学習課	
188	社会教育関係団体の補助金交付	生涯学習課	
189	生涯学習施設「まなびすポット」の活用 ※再掲（連番 No.195）	生涯学習課	

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
生涯学習関連の講座・教室の参加者数 【生涯学習課】	目標値			14,800人	15,000人	15,300人	15,600人	16,000人	市民大学生数、 高齢者大学生数、 子ども大学生数、 図書館で開催の講座参加者数、 社会教育事業（公民館事業）参加者数 ★コロナの影響あり、コロナ前15,208人（平成30年度）
	実績値	★ 4,930人	7,155人	7,252人	8,970人	—	—	—	
子ども大学くき参加児童の満足度 【生涯学習課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			98.0%	98.5%	99.0%	99.5%	100%	参加児童アンケート
	実績値	97.1%	96.4%	95.7%	99.1%	—	—	—	
生涯学習出前講座の利用件数 【生涯学習課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			20件	22件	24件	27件	30件	
	実績値	16件	25件	47件	78件	—	—	—	

基本目標3 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
生涯学習人材バンクの登録者数 【生涯学習課】	目標値			215人	220人	225人	228人	230人	
	実績値	207人	181人	184人	190人	—	—	—	
家庭教育学級の実施団体数 【生涯学習課】	目標値			18団体	22団体	26団体	30団体	35団体	★コロナの影響あり コロナ前 31団体 (令和元年度)
	実績値	★ 10団体	13団体	17団体	16団体	—	—	—	
子育て講座「親の学習」の実施校（小学校） 【生涯学習課】	目標値			全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	
	実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	—	—	—	
生涯学習研修大会（まなびすとフォーラム）の参加者数 【生涯学習課】	目標値			50人	100人	150人	175人	200人	★コロナの影響あり コロナ前 173人 (令和元年度)
	実績値	★ 中止 ※2	★ 中止 ※2	85人	93人	—	—	—	
生涯学習推進大会（まなびすと久喜）の参加者数 【生涯学習課】	目標値			750人	1,000人	1,500人	2,100人	2,700人	★コロナの影響あり コロナ前 2,600人 (令和元年度)
	実績値	★ 中止 ※2	1,200人	1,300人	900人	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

2 市民大学・高齢者大学の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
190	市民大学講座の充実 ※再掲（連番 No.175）	生涯学習課	3	市民大学では、久喜市についての理解を深める講座のほか、歴史や教育、芸術など教養を高める幅広い講座を実施するとともに、講座の内容を一部見直し、充実を図りました。 また、市内4地区で公開講座を開催し、多くの方が参加できる学びの場を提供し、生涯学習環境の充実を図りました。 高齢者大学では、趣味活動や社会参加による生きがいを高めるための講座を実施するとともに、講座の内容を一部見直し、充実を図りました。 高齢者大学における学校行事では、学生が主体的に体育祭や作品展示会、音楽芸能祭などの内容を検討し、充実を図りました。 また、学生が積極的に各コミュニティセンターまつりや市民芸術祭などの運営ボランティアに参加し、自主活動の推進を図りました。 久喜市市民大学・大学院・高齢者大学の講座の多くを生涯学習施設「まなびすポット」で実施し、生涯学習の拠点として、幅広く学習の場を提供し、施設を活用することができました。 今後の方向性として、講座内容や実施方法などの検討を行い、両大学の講座を市民ニーズにあった魅力ある内容に充実するとともに、令和6年度から開始した両大学の合同説明会の開催等を通じて、学生数の増加や入学者の定着につなげていきます。
191	市民大学公開講座の充実 ※再掲（連番 No.176）	生涯学習課		
192	高齢者大学講座の充実 ※再掲（連番 No.177）	生涯学習課		
193	高齢者大学における学校行事（体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等）の充実 ※再掲（連番 No.178）	生涯学習課		
194	高齢者大学における自主活動（クラブ活動、ボランティア活動）の充実 ※再掲（連番 No.179）	生涯学習課		
195	生涯学習施設「まなびすポット」の活用 ※再掲（連番 No.189）	生涯学習課		

基本目標3 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市民大学入学者数 【生涯学習課】	目標値			15人	17人	20人	23人	25人	
	実績値	16人	13人	11人	10人	—	—	—	
市民大学の講座に対する 満足度 【生涯学習課】	目標値			72.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	学生アンケート
	実績値	現状値なし (令和4年度 調査開始)	84.0%	91.5%	90.6%	—	—	—	
高齢者大学入学者数 【生涯学習課】	目標値			52人	54人	56人	58人	60人	
	実績値	36人	52人	49人	64人	—	—	—	
高齢者大学の講座に対する 満足度 【生涯学習課】	目標値			72.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	学生アンケート
	実績値	現状値なし (令和4年度 調査開始)	88.1%	89.2%	87.6%	—	—	—	

3 放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）の推進

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
196	学校・家庭・地域が連携した、子どもたちの学びの機会の充実 ※再掲（連番 No.119）	生涯学習課	3	放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）を市内すべての小学校で開設し、様々な生涯学習事業に携わる地域住民の協力のもと、学校・家庭・地域が一体となり、その活動を通して異学年・異世代間の交流の機会を提供し、子どもたちの学びの機会の充実を図りました。
197	安全・安心な活動拠点の確保	生涯学習課		また、放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携を図り、多くの子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行う中で、子どもの自主性や社会性等の向上を図ることができました。
198	新・放課後子ども総合プランの実現に向けた連携	生涯学習課		今後も、様々な体験を通じて子どもたちが心豊かで健やかに育まれるよう、運動や文化芸術、交流活動等の機会の充実を図り、放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加できるよう、講座内容や開催方法の検討など連携を進めていくとともに、持続可能な事業運営が可能となるよう、各ゆうゆうプラザにおける事務等のICT化を進めていきます。

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）の参加児童の割合 【生涯学習課】	目標値			37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%	
	実績値	35.0%	38.5%	43.9%	42.7%	—	—	—	
実施委員及びサポーター数 【生涯学習課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
	目標値			2,250人	2,300人	2,375人	2,450人	2,500人	
	実績値	1,917人	2,176人	2,185人	2,360人	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 社会教育事業（公民館事業）の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
199	公民館事業の実施	生涯学習課	3	市内8つのコミュニティセンターを活動拠点とした各種講座や教室、ウォーキングや社会科見学などの屋外での催事、利用団体の日頃の成果の発表の場としての公民館まつり、市民体育祭を公民館事業として実施することで、市民の健康増進や生涯学習の推進、地域コミュニティの醸成に寄与することができました。 今後は、これまで以上に地域に根付いた公民館事業を実施していくため、地域と更なる連携を図りながら、事業の充実と、積極的な事業運営を進めていきます。
200	公民館事業連絡協議会による事業の実施	生涯学習課		
201	市民体育祭の実施	生涯学習課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
社会教育事業（公民館事業）数 【生涯学習課】	目標値			90 事業	90 事業	90 事業	90 事業	90 事業	★コロナの影響あり コロナ前 90 事業 (平成 30 年度)
	実績値	★ 50 事業	65 事業	91 事業	91 事業	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 図書館サービスの充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
202	市民に伝える図書館の推進	生涯学習課	3	図書館DXとアウトリーチの2本軸で、市民の利便性向上と図書館サービスの充実を図ることができました。 図書館DXサービスとしては、オンライン利用登録、LINE連携、WEBレファレンス、WEBリクエスト等を導入し、時間や場所にとらわれない図書館利用の充実を図ることができました。 アウトリーチサービスとしては、移動図書館車の運行を開始し、図書館が遠い、または障がいがあるなどの理由で来館が難しい方に対して、図書館サービスの提供を図ることができました。また、コンビニに返却スポットを、本庁舎にブックポストを増設するなど、返却の利便性向上を図ることができました。 このほか、市内の小学1年生を対象に図書館バッグを配布し、子どもたちの図書館利用の促進を図ることができました。 今後も、図書館DXとアウトリーチを軸に、図書館サービスの充実を図るとともに、より多くの方に利用していただける図書館づくりを推進します。
203	市民を支える図書館の推進	生涯学習課		
204	市民が集う図書館の推進	生涯学習課		
205	子どもの成長を応援する図書館の推進	生涯学習課		
206	ICTの利活用	生涯学習課		
207	図書館環境の整備	生涯学習課		

■取組みの『見える化』

人口1人当たりの図書 （電子書籍含む）貸出冊 数 【生涯学習課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			5.46冊	5.50冊	5.54冊	5.58冊	5.62冊	
レファレンスに対する利用満足度 【生涯学習課】	実績値	4.93冊	4.85冊	5.05冊	4.97冊	—	—	—	
	目標値			56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	利用者 アンケート
	実績値	54.4%	50.5%	47.7% (94.2%)	46.4% (90.5%)	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 レファレンスに対する利用満足度の令和5年度以降の（ ）の数値は、レファレンスを利用したことがない者を除いた、レファレンスを実際に利用したことのある者の実利用満足度を記載。

学識経験者からの意見

- 平成国際大学、久喜青年会議所と連携した「子ども大学くき」、職員等が学習会や催し等に出向いて、学習の機会を提供する「生涯学習出前講座」、また、これらの活動の指導者を登録する「生涯学習人材バンク」、子育て中の保護者が抱えている悩みを共有できるよう支援する「家庭教育学級」や「子育て講座」等、市民のニーズに応じた多彩な学習機会が提供されており素晴らしい。さらなる充実に期待する。
- 地域コミュニティづくりの人材を育成することを目的とした「市民大学」、実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを高めることを目的にした「高齢者大学」、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行う「放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）」、いずれの取組みも他市町に誇れる素晴らしい取組みであると高く評価する。これらの取組みは、本計画が目指す「5年後のまちの姿」に大いに近づくものである。
- 多彩な生涯学習の機会の確実な提供が、市民にとってとても意義のあるものとなっており、様々な参加者数、利用者数、入学者数の増加や高い満足度となって表れている。今後も、参加者や利用者の任意アンケート等を活用し、市民のニーズに応じた学習の場を提供し、市民の生涯にわたる学びの更なる充実に図っていただきたい。
- 図書館サービスにおいて、様々なチャンネルを駆使したDXサービスや返却スポットの増設といったアウトリーチサービスは、今の時代に即したものであると言える。その場に行かなくても図書館を利用できるサービスは、利用者の維持・拡大につながっていくものである。

施策2 年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します

1 文化芸術に親しむことができる機会の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
208	美術展（絵画等・書・写真）の実施	文化振興課	3	市民や文化芸術団体を対象に、美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバル、街かどコンサートなどを開催することにより、文化芸術団体の活動支援、並びに文化芸術作品の発表の機会を提供するとともに、芸術文化に親しむ機会の充実を図ることができました。 文化芸術団体会員の高齢化により、文化活動への参加者が減少傾向になっていることから、幅広い世代に向けて、SNSを使用した情報発信や市民向けのセミナーを開催するなど、周知方法及び事業内容を見直す予定です。
209	市民芸術祭の実施	文化振興課		
210	吹奏楽フェスティバルの実施	文化振興課		
211	街かどコンサートの実施	文化振興課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
久喜市美術展出品者数 【文化振興課】	目標値			400人	420人	430人	440人	450人	★コロナの影響あり コロナ前 354人 (令和元年度)
	実績値	★ 317人	309人	299人	292人	—	—	—	—
久喜市美術展入場者数 【文化振興課】	目標値			2,000人	2,200人	2,400人	2,600人	2,800人	★コロナの影響あり コロナ前 1,739人 (令和元年度)
	実績値	★ 1,369人	1,306人	1,336人	1,130人	—	—	—	—
市民芸術祭入場者数 【文化振興課】	目標値			800人	850人	900人	950人	1,000人	★コロナの影響あり コロナ前 622人 (令和元年度)
	実績値	★ 1,040回 ※2	279人	318人	383人	—	—	—	—

基本目標 3 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
吹奏楽フェスティバル入 場者数 【文化振興課】	目標値			2,000 人	2,200 人	2,400 人	2,600 人	2,800 人	★コロナの 影響あり コロナ前 2,721 人 (令和元年度)
	実績値	★ 7,776 回 ※2	2,814 人 ※3	1,630 人	1,575 人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
街かどコンサートの実施 回数 【文化振興課】	目標値			8 回	8 回	9 回	9 回	9 回	★コロナの 影響あり コロナ前 9 回 (令和元年度)
	実績値	★ 3 回	8 回	8 回	8 回	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて開催したため、動画再生回数を記載。

(令和4年3月末時点の再生回数)

※3 入場者数とインターネットライブ配信視聴者数の合計を記載。

2 文化芸術の情報発信の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価(成果、課題、今後の方向性等)
212	情報発信の充実	文化振興課	3	市ホームページや広報紙を活用した情報発信を行うことにより、市民が芸術文化に親しむ機会を提供することができました。

学識経験者からの意見

- 美術展、市民芸術祭、吹奏楽フェスティバル、街かどコンサート等の開催は、参加する中学生や高校生、文化芸術団体にとっても、とても意義のあるものであり、楽しみにしていると思われる。発表者には有意義な発表の機会、参加者には芸術文化に親しむ機会となる。ぜひ様々な情報発信を工夫し、継続していただきたい。
- 美術展出品者数、美術展及び芸術祭の入場者数について、一定数を維持できているのは、関係者の努力によるものと推察される。その中で、高齢化を背景とした減少傾向は、どの自治体も抱えている課題である。文化芸術に親しむ機会を充実・発展・継続させていくためにも、出演・出品部門の拡大、文化芸術団体の周知・広報を充実させていく等、市民や市内で文化活動を行っている団体がジャンルや年齢、所属を超えて交流できるよう、今後の取組みに期待する。
- 取組みの『見える化』(65ページ)「吹奏楽フェスティバル入場者数」が減少している。安全な高速大容量通信ネットワークに接続した学習者用端末が小・中学生全員に配布されていることを活用し、文化芸術の情報発信の充実につなげてみてはどうか。

施策3 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育みます

1 地域文化資源の発掘

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
213	文化財の調査	文化振興課	3	市内の文化財を対象に、専門家による文化財調査（4件実施）を行うことにより、地域文化資源である文化財の価値を明らかにすることができました。 今後も文化財調査に取組み、地域文化資源の発掘に努めていきます。

■取組みの『見える化』

市指定文化財の指定件数 【文化振興課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			74 件	75 件	75 件	75 件	76 件	
	実績値	74 件	74 件	74 件	75 件	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 文化財の保存・継承

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
214	指定文化財の管理等に関する補助等	文化振興課	3	指定文化財の所有者等に対し補助金（8件）及び交付金（56件）を交付するとともに、郷土伝統芸能指導者に対し指導実績に基づき謝金（16団体、330回開催）を支払いました。また、国指定重要無形民俗文化財である鷲宮催馬楽神楽を広く周知するとともに、後継者を育成し、今後の保存伝承活動の一助とするため、鷲宮催馬楽神楽伝承教室（10回開催、受講者延べ76人）を開催しました。 これらの取組みにより、指定文化財の保存・継承や維持・管理に資するとともに、郷土伝統芸能の伝承活動に対し支援を図ることができました。 また、埋蔵文化財包蔵地内での開発の届出があった際には、必要に応じて試掘調査を実施するとともに、県に開発の取扱いについて協議しました。この結果を、開発者に通知し、指導することで、埋蔵文化財を適切に保護することができました。
215	郷土伝統芸能の伝承活動支援	文化振興課		
216	埋蔵文化財包蔵地内の開発の規制等	文化振興課		
217	鷲宮催馬楽神楽伝承教室の開催	文化振興課		

■取組みの『見える化』

郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数 【文化振興課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			381回	382回	383回	384回	385回	★コロナの影響あり コロナ前 385回 (令和元年度)
	実績値	★ 78回	239回	240回	330回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 文化財の活用

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
218	指定文化財説明板の設置等	文化振興課	3	指定文化財説明板の設置等（設置1件、貼替3件、補修1件、撤去3件）や、市指定文化財「吉田家水塚」の公開（公開日数56日、見学者数693人）により、文化財を周知することができました。
219	市指定文化財「吉田家水塚」の公開	文化振興課		また、報告書の刊行準備として、天王山西遺跡の出土品の整理を行い、発掘調査成果の活用を図るための基礎作業を進めることができました。
220	調査報告書等の刊行	文化振興課		さらに、「本多静六通信」の発行や、ゆかりの地訪問を行い、本多静六博士の顕彰に資することができました。
221	「本多静六通信」の発行及びゆかりの地への訪問	文化振興課		今後も指定文化財説明板の設置や管理、市指定文化財「吉田家水塚」の公開、調査報告書の刊行等に取り組む、積極的に文化財の活用を進めていきます。

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			900人	1,000人	1,100人	1,200人	1,300人	
市指定文化財「吉田家水塚」の見学者数 【文化振興課】	実績値	★ 682人	603人	809人	693人	—	—	—	★コロナの影響あり コロナ前 1,604人 (令和元年度)

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 郷土資料館の充実

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
222	特別展等の開催	文化振興課	3	第14回特別展「栗橋の賑わい」（開催日数87日、観覧者延べ3,482人）や、歴史講座（全3回、参加者延べ81人）、古文書学習会（全11回、参加者延べ345人）の開催により、本市の歴史・文化を市民に広く紹介することができました。 また、埼玉県博物館連絡協議会と連携してスタンプラリーを開催することにより、県東・北部ブロックの館園をアピールすることができました。 今後も本市の歴史の魅力を広く市民に知っていただくため、各種団体とも連携し、市民のニーズにあった事業を展開していきます。
223	歴史講座等の開催	文化振興課		
224	古文書学習会の開催	文化振興課		
225	各種団体との連携	文化振興課		

■取組みの『見える化』

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
郷土資料館の入館者数 【文化振興課】	目標値			8,100人	8,300人	8,500人	8,700人	8,900人	★コロナの影響あり コロナ前 8,835人 (令和元年度)
	実績値	★ 5,756人	8,038人	8,038人	8,224人	—	—	—	
特別展の入館者数 【文化振興課】	目標値			1,800人	2,100人	2,400人	2,700人	2,900人	★コロナの影響あり コロナ前 2,849人 (令和元年度)
	実績値	★ 1,450人	2,196人	2,568人	3,482人	—	—	—	
団体（学校や生涯学習団体等）の利用件数 【文化振興課】	目標値			16件	21件	21件	26件	26件	★コロナの影響あり コロナ前 26件 (令和元年度)
	実績値	★ 11件	18件	20件	16件	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※第3期久喜市教育振興基本計画における各施策の「主な取組み」以外の取組み

連番	取組み	所管課	達成度	評価（成果、課題、今後の方向性等）
226	過去の文化財調査の情報整理	文化振興課	3	過去に行った文化財調査の情報を整理し、文化財保護審議委員や職員間で情報の共有を図ることができました。
227	過去の基本文献の情報整理	文化振興課	3	久喜市に関連する論考の情報を整理し、文化財保護審議委員や職員間で情報の共有を図ることができました。
228	久喜市教育委員会発行の刊行物の情報整理	文化振興課	3	合併前の1市3町が刊行した文化財調査報告書等の情報を整理し、文化財保護審議委員や職員間で情報の共有を図ることができました。
229	郷土資料館発行の刊行物の情報整理	文化振興課	3	郷土資料館発行の刊行物の情報を整理し、文化財保護審議委員や職員間で情報の共有を図ることができました。
230	郷土資料館収蔵資料の整理	文化振興課	3	寄贈・寄託された資料を利用できるよう段階的に整理しました。収納スペースが限られる中、今後も効果的に整理を続けます。

学識経験者からの意見

- 文化財を適切に保管し後世に伝えることと同時に、研究を通じて文化財の価値を明らかにし、また展示等で文化財を活用し、保護への理解を高めることは、市民が郷土の歴史文化を大切にすることにつながる。
- 郷土伝統芸能後継者育成活動や、郷土資料館が市民にとって貴重な学びや楽しみの場として機能している点を高く評価する。特に、取組みの『見える化』（69ページ）「特別展の入館者数」が目標を大きく上回ったことは素晴らしい成果である。郷土資料館の特別展も毎年度テーマを工夫し、取組まれていることがわかる。今後さらに情報発信を強化し、文化の価値・魅力を市民に実感していただき、誇りを持てる施設となるよう、取組みの継続と充実を期待する。
- 無形の指定文化財について、鷲宮催馬楽神楽伝承教室の開催や、提灯まつりの各地区の祭典保存会や獅子舞の保存会の後継者育成活動への支援は、人口減少等による後継者不足から、日本各地で貴重な郷土伝統芸能が継承できなくなったというニュースを数多く耳にする昨今、継承のための支援として、素晴らしい取組みであると高く評価する。継続的な取組みと事業の充実に期待する。